

青い森のみちづくり



はじめに

本県を取り巻く状況を見ると、これまでに経験したことのないスピードで進む人口減少、若者の人口流出、今後ピークに向かう超高齢社会、危機的な状況となっている少子化の進行、さらには、原油・原材料・物価高騰問題、激甚化・頻発化する自然災害など、立ち向かうべき様々な課題があります。

このような状況の下、県では令和5年12月に青森県基本計画『「青森新時代」への架け橋～よりそい、未来へつなぐ』を策定し、これまでの計画になかった政策テーマの一つとして新たに「社会資本」～安全で利便性の高いインフラの整備～を掲げました。これにより、これまで以上に、県民の命と暮らしを守ることを最優先として、県民が日常生活で利用するインフラの整備や機能強化を着実に進めるとともに、あらゆる災害や危機に備えたインフラの強靱化を進めていくこととしています。

道路分野における具体的な取組として、ドローンやAIなどを活用した持続可能な「予防保全型インフラメンテナンス」への本格転換による重点的かつ集中的なインフラ老朽化対策の推進、広域交流の促進や地域間の連携強化を図る高規格道路の整備、代替性のある道路ネットワークの形成などがあります。

道路課では、青森県基本計画に合わせて『青い森のみちづくり』を策定しており、そのなかで「青森のみちの将来像」として5つの基本方針・政策目標、その目標を実現するために定めた13の指標を定め、“命と暮らしが安全に守られる社会を支える道づくり”を目指して、効率的で効果的な事業の推進に努めてまいります。

● 2040年のめざす姿の具体像

若者が、未来を自由に描き、実現出来る社会

AX(Aomori Transformation) ▶ AXの基盤「挑戦」「対話」「DX」

2040年のめざす姿 若者が、未来を自由に描き、実現できる社会



青森県基本計画

「青森新時代」への架け橋

青森県基本計画「青森新時代」への架け橋は青森県ホームページでご覧頂けます。

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/seisaku/seisaku/master-plan2024-2028.html>

AOMORI



CONTENTS

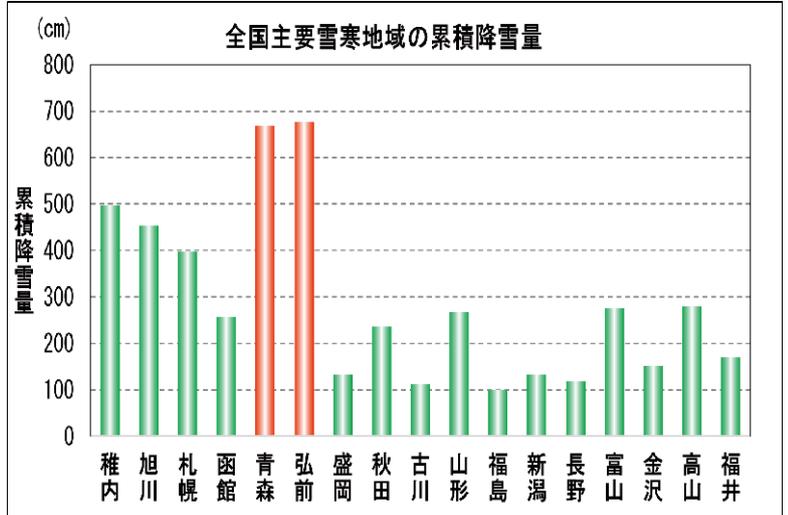
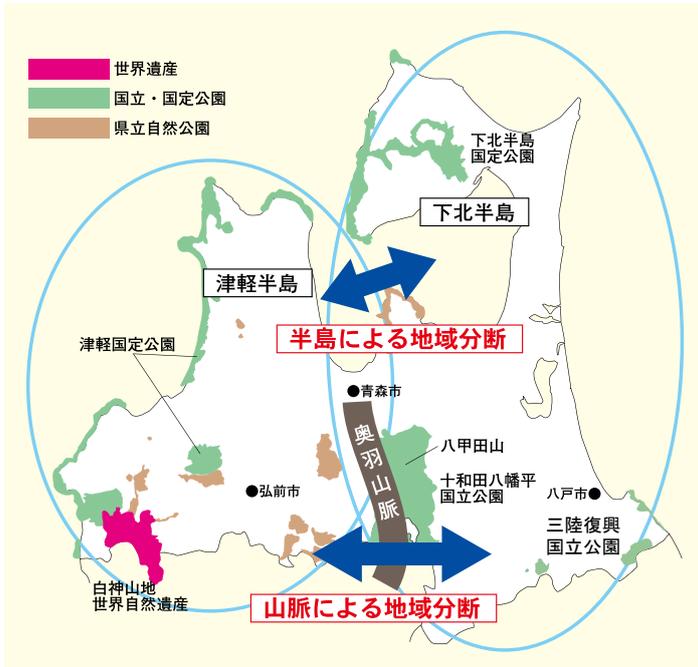
●青森県のすがた	1
●道路の現況と課題	3
●数字で見る青森県の道路	4
●青森県の道づくり基本方針	
青森のみちの将来像	5
成果重視型の道路行政	6
●道路分野における13の指標	7
●政策テーマ1 雪	
雪国あおもりの暮らしを支える道づくり	9
●政策テーマ2 安全・快適	
安心して快適な地域社会を形成するあおもりの道づくり	11
●政策テーマ3 次世代	
次世代へつなぐ持続可能なあおもりの道づくり	14
●政策テーマ4 交流・物流	
交流・物流の拡大と連携を強化するあおもりの道づくり	15
●政策テーマ5 自然環境	
自然環境と共生するあおもりの道づくり	21
◆道路に関する予算	23
◆公共事業評価	24
◆高規格道路	25
◆青森県の広域道路整備基本計画	27
◆青森県主要幹線道路	29
◆青森県の道路に関するプログラム	31
◆青森のこれまでのみちづくり	33
◆道路に関する情報発信	35

青森県のすがた

■青森の地勢

青森県は、世界遺産白神山地、十和田八幡平国立公園などに代表される豊かな自然環境を有しています。

しかし、その自然環境を形成する県土の地形は、津軽半島と下北半島の間にある陸奥湾や、中央を南北に連なる奥羽山脈が、青森・津軽地域と南部・下北地域を分断しています。



参考資料：気象庁 積雪の深さ一覧表(令和6年11月1日～令和7年3月31日)

●面積	●人口
9,645.11km ²	1,151,871人
R7.4.1現在 国土地理院	R7.4.1現在 青森県推計人口 青い森オープンデータカタログ



冬期の道路状況(弘前市賀田)

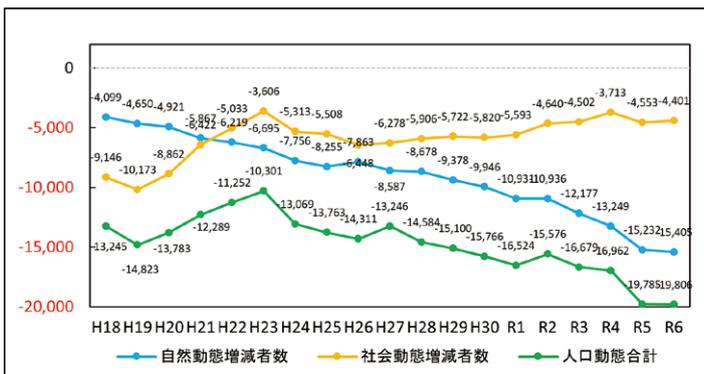


冬期の道路状況(青森市筒井)

■人口減少と少子高齢化の進展

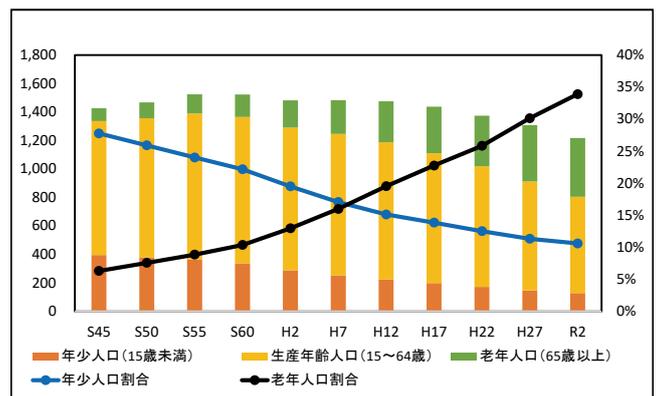
平成11年以降は、これまでプラスだった自然動態が、少子高齢化の進行によりマイナスに転じ、年々そのマイナス幅が拡大しています。このため、出生数の減少に歯止めをかけ、また若年者を中心とする県外への人口流出を食い止めるなど、総合的な少子化対策が必要となっています。

最近の青森県の人口動態の推移



資料：青森県社会経済白書「青森県の人口」

本県の年齢3区分別人口の推移



資料：総務省「国勢調査」

注：1 自然動態=出生数-死亡数

2 社会動態=県外からの転入-県外への転出

■恵まれた観光資源

青森県には、三内丸山遺跡をはじめ、小牧野遺跡、是川遺跡、亀ヶ岡遺跡など、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が存在し、令和3年7月27日に世界文化遺産に登録されました。また日本を代表する火祭り「青森ねぶた祭」、津軽の夏を彩る「弘前ねぷたまつり」、豪華絢爛な山車と囃子が魅力の「八戸三社大祭」、巨大な山車で圧倒的迫力を醸し出す「五所川原立佞武多」のほか、春を呼ぶ豊作祈願のお祭り「八戸えんぶり」、艶やかな桜が咲き誇る「弘前さくらまつり」など、優れた文化観光資源を有しています。

観光入込客数

(千人)		R2	R3	R4	R5
総数		11,202	13,197	13,107	12,888
うち	日帰客	8,367 75%	10,099 77%	9,741 74%	9,187 71%
	宿泊客	2,834 25%	3,098 23%	3,367 26%	3,701 29%
うち	県内客	7,260 65%	9,548 72%	9,216 70%	7,774 60%
	県外客	3,899 35%	3,641 28%	3,867 30%	4,888 38%
うち	冬期観光客	4,427 40%	4,898 37%	4,440 34%	4,327 34%

出典：県観光交流推進部「令和5年 青森県観光入込客統計」

主要行催事・イベント入込客数

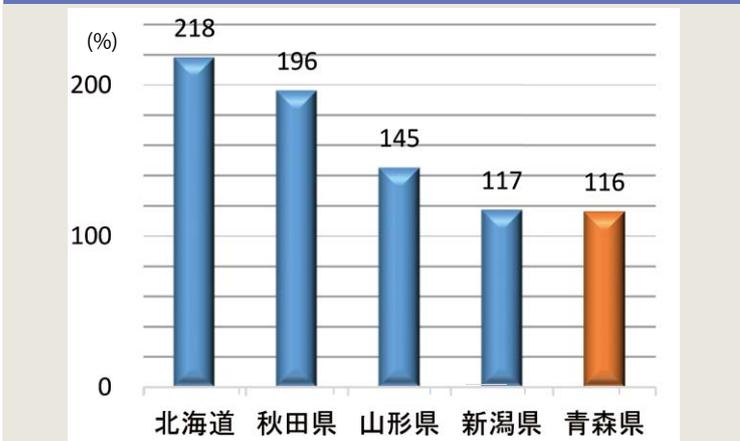
行祭事・イベント名	開催市町村名	入込客数(千人)			
		H30	R1	R4	R5
青森ねぶた祭	青森市	2,800	2,850	1,050	1,010
弘前さくらまつり	弘前市	2,540	2,890	336	2,040
弘前ねぷたまつり	弘前市	1,600	1,680	910	1,370
五所川原立佞武多	五所川原市	1,240	1,290	206	261
八戸三社大祭	八戸市	1,403	1,452	107	1,416
八戸えんぶり	八戸市	293	306	8	296

出典：県観光交流推進部「令和5年 青森県観光入込客統計」

■農林水産業の高いポテンシャル

青森県の食料自給率は116%（全国5位）と高く、食料供給県として、様々な品目で全国上位の生産量を誇ります。本県で生産されたものは、販売事業者や物流関連事業との連携強化により、鮮度を保った輸送が行われるなど、生産から消費までを効率的・効果的につなぐ新たな流通ルート・手法が確立し、戦略的に国内外に販売されています。

全国有数の食料自給率



令和4年度(カロリーベース)

資料：農林水産省

全国有数の農業県

農業産出額 全国7位
果実産出額 全国1位

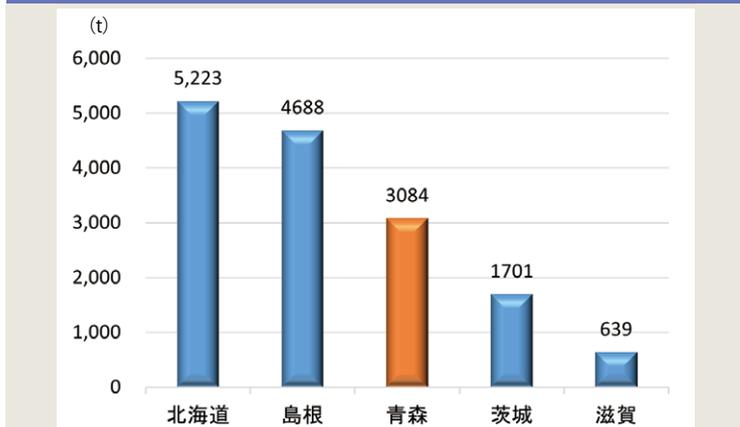
出典：令和5年 農林水産省統計

収穫量が全国上位の農産物

品目	全国収穫量(t)	県収穫量(t)	全国順位
りんご	603,800	374,400	1
にんにく	20,200	13,400	1
ごぼう	119,000	49,600	1
あんず	1,845	1,250	1
フサスグリ	5.7	5.1	1
スチューベン	464.3	400	1
ながいも	146,600	49,000	2
くるみ	91.6	38.4	2
マルメロ	73.3	9.3	2

出典：ピカイチデータ 数字で読む青森県2024

全国有数の水産業県



令和6年内水面漁業・養殖業生産量

資料：農林水産省

漁獲量が全国上位の水産物

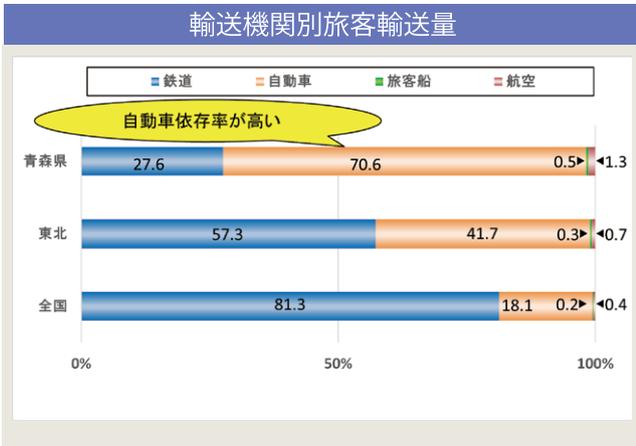
品目	全国漁獲量(t)	県漁獲量(t)	全国順位
いか類	59,342	11,640	1
わかさぎ	675	217	1
こい	121	53	1
うぐい・おいかわ	109	67	1
しらうお	320	151	1
ほたて貝	172,078	77,882	2
さけ・ます類	91,172	722	2
くらまぐろ	13,179	1,575	2
しじみ	8,313	2,045	2

出典：ピカイチデータ 数字で読む青森県2024

道路の現況と課題

青森県は、全国と比較し公共交通網が十分行き届いていないこともあり、移動手段の殆どを自動車に頼っている状況です。しかし、主要都市間の移動にはまだ多くの時間を要しており、地域間交流・産業経済活動に一部支障をきたしています。また、本県は全国有数の豪雪地帯であることから、特に冬期間の道路空間確保が課題となっています。さらに、県内には歩道の未整備区間や斜面对策が必要な箇所が多く存在します。

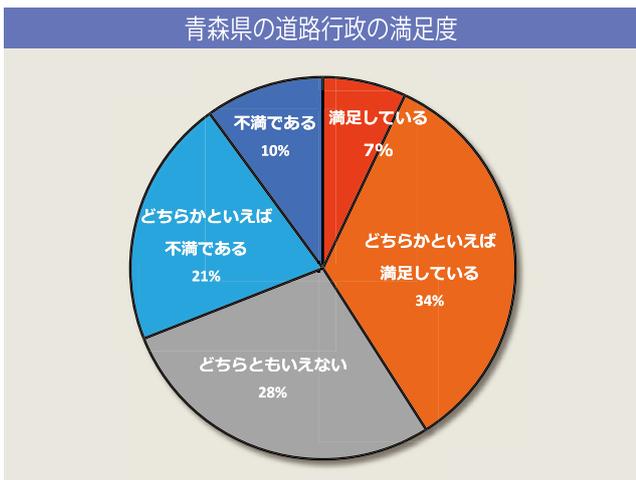
安全・安心な道路環境確保のため、これらの課題に対し、県民の皆さんのご理解とご協力を頂きながら、より効率的・効果的な対策の実施に努めていきます。



資料：R5年旅客地域流動調査 府県相互人員表から算出



資料：R3全国道路・街路交通情勢調査 非混雑時旅行速度調査結果等から算出



資料：H29青森県ウェブアンケート

県民が道路行政に期待していること

1	除雪・排雪の充実	4	都市間の道路整備
		5	道路安全施設の充実※2
2	日常的な維持管理※1	6	渋滞の解消
		7	急カーブ、急勾配の解消
3	歩行者空間の確保	8	分かりやすい道路情報
		9	道路案内標識等の充実

※1 舗装の穴埋めや既設側溝の蓋交換など

※2 ガードレールや照明灯など

資料：H29青森県ウェブアンケート

青森県の道路現況

R4.3.31現在(確定値) 単位:km

	路線数	実延長(km)	改良状況		舗装状況		橋 梁		トンネル	
			改良済み(km)	改良率(%)	舗装済み(km)	舗装率(%)	箇所	延長(km)	箇所	延長(km)
国道(直轄管理)	5	332.0	332.0	100.0	332.0	100.0	283	13.6	6	2.0
国道(県管理)	12	1,125.3	969.7	86.2	938.0	83.4	769	19.0	18	5.8
国道計	15	1,457.2	1,301.7	89.3	1,270.0	87.2	1,052	32.6	24	7.8
主 要	47	1,240.5	972.5	78.4	831.2	67.0	656	18.8	9	2.7
一 般	185	1,272.4	762.6	59.9	740.3	58.2	852	21.3	8	5.4
県道計	232	2,512.9	1,735.1	69.0	1,571.5	62.5	1,508	40.1	17	8.1
県管理計	244	3,638.2	2,704.9	74.3	2,509.6	69.0	2,277	59.1	35	13.9
国県道計	247	3,970.1	3,036.8	76.5	2,841.5	71.6	2,560	72.7	41	15.9
市町村道	34,167	16,126.0	9,752.9	60.5	4,059.4	25.2	4,441	65.6	10	1.3
合 計	34,414	20,096.2	12,789.7	63.6	6,900.9	34.3	7,001	138.3	51	17.2

注1：有料道路を含み、自転車道を除く。注2：指定区間国道は、4号、7号、45号の他に、101号、104号の一部を含む。

出典：道路統計年報2024

注3：改良延長は県道が車道幅員5.5m以上、また市町村道は5.5m未満を含む。舗装延長は簡易舗装を除く。注4：端数整理の為、合計が合わない場合があります。

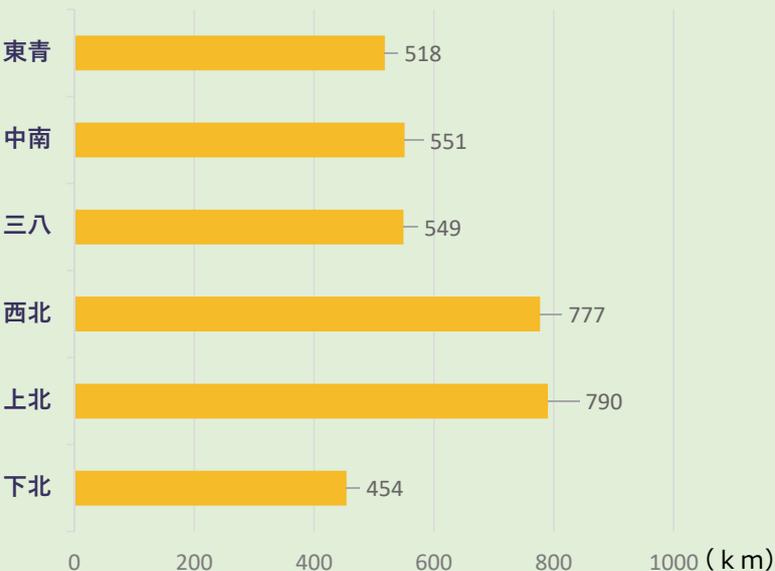
数字でみる青森県の道路

※県が管理する道路
国・市町村が管理する道路は除く

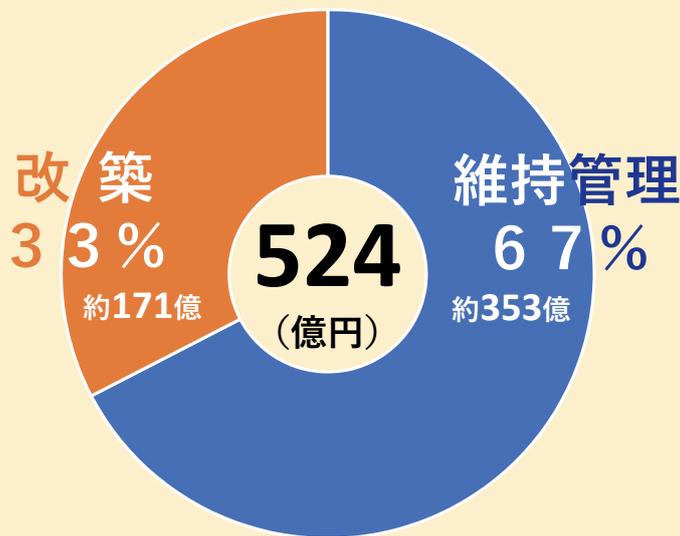
管理道路延長 約 **3,600** km

(青森⇄東京を車で3往復程度の距離)

6つの管内に分けて管理



道路課の予算約 **524** (億円)
(令和6年度最終)



改築系 : バイパス整備、道路拡幅等
維持管理系 : 舗装補修、除雪、橋梁補修等

県民が期待していること **第1位「除排雪」**

道路の雪対策費用 (令和6年度最終)
年間約 **114** (億円)

維持管理予算の約 **32%** !!

※雪対策費用には除雪、防雪柵、除雪機械、融雪施設に関する費用が含まれます



通学路の歩道除雪【国道101号】

端末搭載

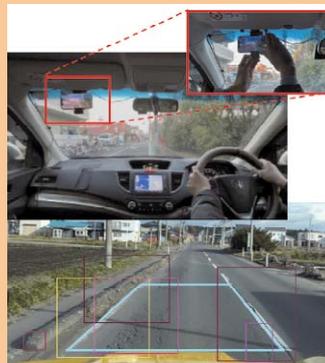


除雪DX【位置情報把握・日報自動作成】

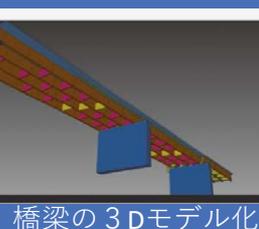
県民が期待していること **第2位「維持管理」**

舗装延長約 3,400 km を毎年 **1** 回

AIを活用して
点検しています。



舗装DX (AI点検)



橋梁の3Dモデル化

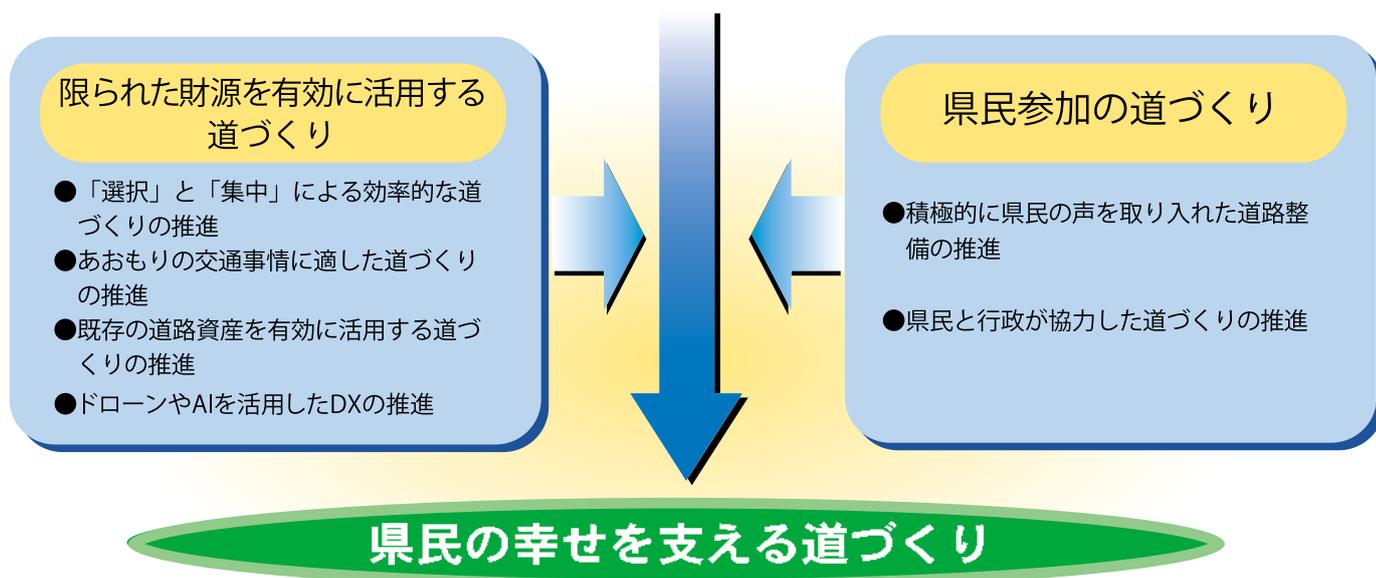
県が管理する橋梁 **2,250** 橋を
5年に**1**回AIを活用し点検して
います。

青森県の道づくり基本方針

道路事業の実施にあたっては、青森県基本計画『「青森新時代」への架け橋～よりそい、未来へつなぐ～』で新たに掲げた政策テーマの一つの「社会資本」～安全で利便性の高いインフラの整備～を実現するため、「青森のみちの将来像」の5つの基本方針に基づいて、「県民の幸せを支える道づくり」を目指して、効率的・効果的な事業の推進に努めています。

青森のみちの将来像

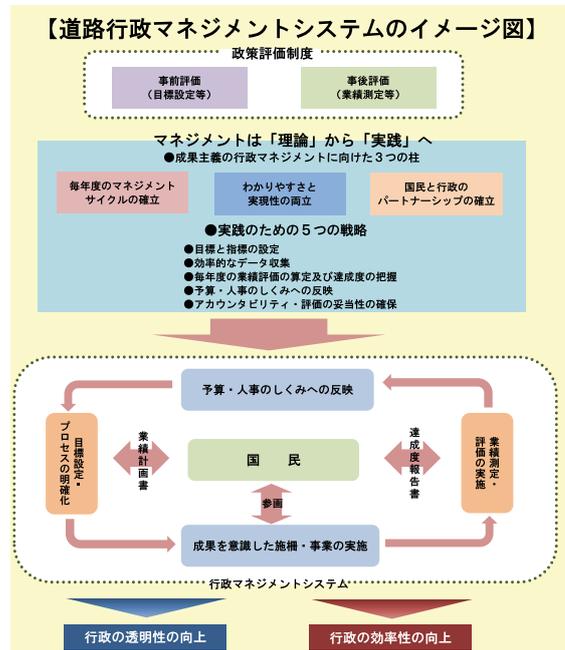
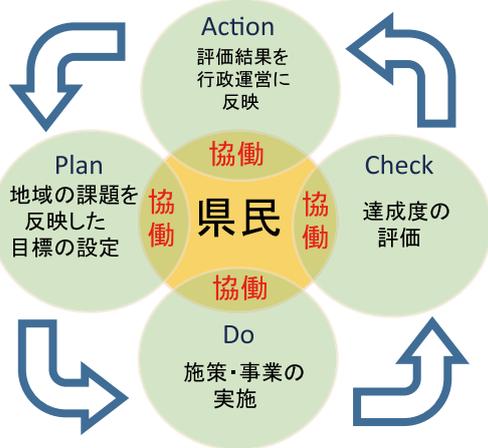
基本方針（政策）	政策目標	事業概要
雪国あおもりの暮らしを支える道づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 冬の青森に効果的な雪対策を実施します ● 冬期交通に関する情報発信を迅速に行います。 ● DXによる除排雪の体制を推進します。 	除雪 雪寒
安心で快適な地域社会を形成するあおもりの道づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路防災対策を推進し、安全安心な道路空間を確保します。 ● 地域性を活かした都市基盤の整備や良好な景観を形成します。 ● 事故危険箇所等における交通安全対策を推進します。 ● 災害時における代替性のある道路網を確保します。 	交通安全 耐震補強 災害防除
次世代へつなぐ持続可能なあおもりの道づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● DXを活用した効率的な整備や持続可能な維持管理を行います。 ● 次世代自動車に対応した道路整備を推進します。 	橋梁補修 A I点検 舗装補修 自動運転 メンテナンス
交流・物流の拡大と連携強化するあおもりの道づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 主要幹線道路ネットワークの構築を推進します。 ● 物流拠点や防災拠点・医療拠点へのアクセスを強化します。 ● 市街地の円滑な道路交通を確保します。 	高規格道路 改築 街路
自然環境と共生するあおもりの道づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 貴重な自然環境を保護しながら道路空間を確保します。 ● 地域資源の利活用につながる道づくりを進めます。 	奥入瀬溪流 広域連携 渋滞対策



■成果重視型の道路行政

これまでの、「バイパスを〇〇Km整備します」といった量的な目標（指標）に基づいて事業を行ってきましたが、平成15年度からは「バイパスや歩道の整備により交通事故を△△件減少させる」といった、事業によって得られる“成果”を重視する道路行政マネジメントに取り組んでいます。

成果目標を持ち（Plan）、成果を求めて取り組み（Do）、結果を評価し（Check）、評価結果を行政運営に反映させる（Action）成果重視型の道路行政を進め、より透明性・客観性の高い事業の転換に努めていきたいと考えています



道路整備による成果の一例

むつ市から七戸町を繋ぐ、下北半島縦貫道路の整備事業によって得られる成果を紹介します。

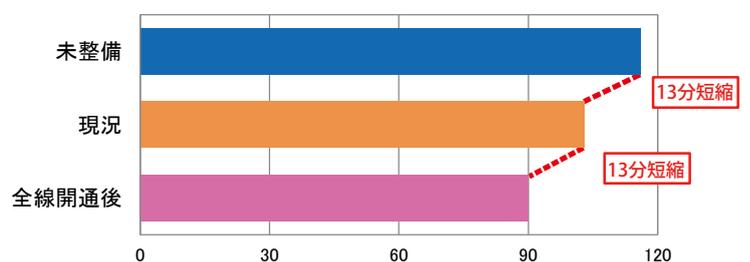
下北半島縦貫道路の整備により、二次救急医療施設であるむつ総合病院から青森県立中央病院への救急搬送には、未整備の状態では約2時間要しますが、全線供用後は約30分の時間短縮がされるなど、地域の医療サービスが向上します。

【成果の一例】

救急医療体制の強化



【むつ市～青森市の所要時間の変化】



大動脈解離、くも膜下出血、異常分娩による母体搬送などは青森市へ救急搬送されている。
(H27～R1の5年間で243件)

※むつ総合病院～県立中央病院の所要時間を表示

現況:「横浜吹越IC～野辺地IC」を利用

全線開通後:「下北半島縦貫道路」を利用

出典: H27全国道路・街路交通情勢調査(非混雑時、下り)を採用
未供用区間については、道路構造に応じた速度を採用

道路分野における13のアウトカム指標

1. 雪国 雪国あおもりの暮らしを支える道づくり



○通学路の歩道除雪状況[国道101号]

①通学路歩道除雪カバー率

R 4 84.0% → 現状 (R6末) 84.1% → R 10目標 95.0% → R 25目標 100%

②除排雪のDX活用率

R 4 0.0% → 現状 (R6末) 43.8% → R 10目標 100% → R 25目標 100%

指標①「通学路歩道除雪カバー率」は、地域の通学路に対して、どの程度歩道除雪が行われているかを示すものです。令和25年度末までに100%を目指します。

指標②「除排雪のDX活用率」は、GPS等を用いた先進技術を活用する除排雪作業の割合を示しています。令和10年度末までに100%を目指します。

2. 安心・快適 安心で快適な地域社会を形成するあおもりの道づくり



○通学路安全対策の状況[国道280号歩道整備]

③通学路安全対策率

R 5 28.9% → 現状 (R6末) 44.7% → R 10目標 84.2% → R 25目標 100%

④緊急輸送道路における耐震補強率

R 4 81.3% → 現状 (R6末) 83.8% → R 10目標 84.9% → R 25目標 100%

⑤緊急輸送道路における法面对策率

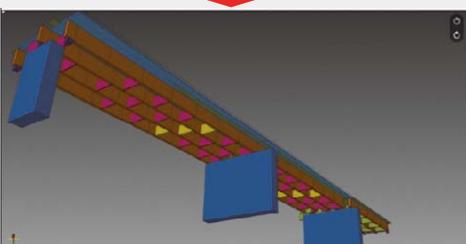
R 4 39.7% → 現状 (R6末) 40.3% → R 10目標 50.0% → R 25目標 80.0%

指標③「通学路安全対策率」は、道路管理者と警察等の通学路合同点検の結果、対策が必要となった箇所に対する対策実施率を示しています。令和25年度末までに100%を目指します。

指標④「緊急輸送道路における耐震補強率」は、緊急輸送道路上にある橋梁の耐震補強率を示しています。令和25年度末までに100%を目指します。

指標⑤ 緊急輸送道路における法面对策率は、緊急輸送道路上の法面における落石や土砂流出を防ぐための対策率を示しています。令和25年度末までに80%を目指します。

3. 次世代 次世代へつなぐ持続可能なあおもりの道づくり



○ODXの活用状況[既設橋梁の3Dモデル化]

⑥橋梁健全率

R 4 86.4% → 現状 (R6末) 91.0% → R 10目標 90.0% → R 25目標 100%

⑦舗装健全率

R 4 82.0% → 現状 (R6末) 85.3% → R 10目標 85.0% → R 25目標 90.0%

⑧橋梁点検DX活用率

R 4 0.0% → 現状 (R6末) 40.0% → R 10目標 100% → R 25目標 100%

⑨舗装点検DX活用率

R 4 0.0% → 現状 (R6末) 100% → R 10目標 100% → R 25目標 100%

青森県基本計画の実現に向けて、13のアウトカム指標を定めました。

基本計画の目標年次の「令和10年度」と20年後の「令和25年度」の目標値を設定しています。

DXを活用した、インフラ整備と防災・減災の推進のため、 道路整備の状況を「見える化」します

指標⑥「橋梁健全率」は、県管理橋梁(約2250橋)について、補修の必要性が低い状態(健全度ⅠまたはⅡ)の割合を示します。令和25年度末までに100%を目指します。

指標⑦「舗装健全率」は、舗装が敷設されている県管理道路(約3,315km)について、補修の必要性が低い状態(MCIが4.0以上)の割合を示します。令和25年度末までに90%を目指します。

指標⑧「橋梁点検DX活用率」は、点検AIを活用し、定期点検を行った橋梁の割合を示しています。令和10年度末までに100%を目指します。

指標⑨「舗装点検DX活用率」は、舗装点検にICTを活用する割合を示しています。令和10年度末までに100%を目指します。

健全度：道路橋定期点検要領(国土交通省)に定める構造物の状態を表す4段階区分のこと。

健全度Ⅰ(機能に支障がない状態)～健全度Ⅳ(緊急に措置すべき状態)までである。

MCI：舗装点検要領(国土交通省)に定める舗装の状態を表す区分のこと。0.0～10.0で表され、3.9以下で修繕が必要な段階となる。

4. 交流・物流 交流・物流の拡大と連携を強化するあおもりの道づくり



○下北半島縦貫道路[国道279号[(仮)横浜I.C]]

⑩高規格道路整備率

R 4	現状 (R6末)	R 10目標	R 25目標
71.6%	71.6%	76.7%	100%

⑪3次医療圏内人口カバー率

R 4	現状 (R6末)	R 10目標	R 25目標
91.9%	91.9%	92.3%	93.1%

指標⑩「高規格道路整備率」は、県内の高規格道路の整備率を示しています。令和25年度末までに100%を目指します。

指標⑪「3次医療圏内人口カバー率」は、3次医療施設におおむね1時間で到達できる人口の割合を示しています。令和25年度末までに93.1%を目指します。

5. 自然環境 自然環境と共生するあおもりの道づくり



○マイカー規制中の状況(社会実験)

⑫奥入瀬溪流におけるCO₂削減率

R 4	現状 (R6末)	R 10目標	R 25目標
25.5%	41.7%	34.5%	100%

⑬主要渋滞箇所解消率

R 4	現状 (R6末)	R 10目標	R 25目標
8.2%	8.2%	13.3%	38.0%

指標⑫「奥入瀬溪流におけるCO₂削減率」は、自動車排気ガス(CO₂)の削減率を示しています。直轄権限代行で実施している青森山バイパスの完成により溪流区間のシャトルバスを除く自動車交通がなくなることにより、令和25年度末までに100%を目指します。

指標⑬「主要渋滞箇所解消率」は、青森県渋滞対策推進協議会において設定した主要渋滞箇所数の解消率を示しています。渋滞解消には、協議会で定めた一定の要件(信号待ち一回で交差点を通過など)を満たす必要がありますが、令和25年度末までに38%を目指します。

■ 本項目の目標と指標

目標

- 冬の青森に効果的な雪対策を実施します
- 冬期交通に関する情報発信を迅速に行います
- DXによる除排雪の体制を推進します

	R4末時点	R6末時点	R10末時点	R25末時点
● 通学路歩道除雪カバー率	84.0%	84.1%	95.0%	100.0%
● 除排雪のDX活用率	0.0%	43.8%	100.0%	100.0%

■ 効果的な雪対策

除排雪のDX活用率：GPSを用いた除排雪作業等の先進技術を活用する割合

青森県は全国でも有数の豪雪地帯であり、冬期交通、歩行者空間の確保は切実な課題です。県では、500台以上の除雪機械を配置し、日夜除排雪作業に取り組んでいます。また、融・流雪溝や無散水消雪（ロードヒーティング）施設等を整備し、車道や歩道空間の確保に努めています。今後も、除排雪作業と施設整備を効果的に組み合わせ、効率的な雪対策に取り組みます。同時に、県民の皆様と協働した冬期対策を進めていきたいと考えています。

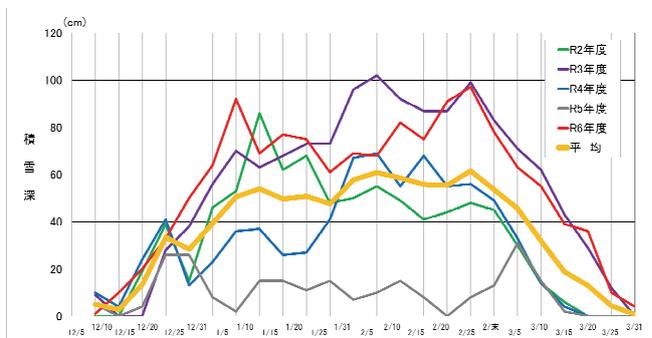
● 青森県の積雪寒冷地域及び豪雪地帯の状況



積雪地域 寒冷地域 豪雪地帯	青森県全域
特別豪雪地帯	<ul style="list-style-type: none"> ● 青森市、黒石市、平内町、今別町、蓬田村、鱒ヶ沢町、西目屋村、野辺地町 全域 ● 弘前市のうち旧相馬村 ● 五所川原市のうち旧五所川原市 ● 十和田市のうち旧十和田湖町 ● 平川市のうち旧平賀町、旧碓ヶ関村 ● 東北町のうち旧東北町 <p>6市、5町、2村 計13市町村</p>

■ 近年の積雪状況

5日おきの積雪深図（青森、弘前、五所川原、むつ、野辺地の平均）



一般県道 駒込筒井線（青森市）



一般県道 荒川青森停車場線 青森市大野地区の通常期と冬期の様子



主要地方道 青森田代十和田線（青森市）

■ 冬期交通・歩行者空間確保の取り組み

車両交通の安全確保



機械除雪による雪対策

施設整備による雪対策

歩行者空間の安全確保

■ 除排雪DX取り組み例

GPSによる除排雪作業管理

位置情報取得

除雪車にGPS端末を搭載することにより
出動状況や作業記録を一元管理

出動状況

作業記録

3次元地図による雪山除雪サポート

▼従来の作業

積雪前の道路情報を3次元地図により表示
→安全に作業可能

3次元地図

<3.2m
2.1m>

■ 本項目の目標と指標

目標

道路防災対策を推進し、安全安心な道路空間を確保します
 地域性を活かした都市基盤の整備や良好な景観を形成します
 事故危険箇所等における交通安全対策を推進します
 災害時における代替性のある道路網を確保します

	R4末時点	R6末時点	R10末時点	R25末時点
● 通学路安全対策率	28.9%	44.7%	84.2%	100.0%
● 緊急輸送道路における耐震補強率	81.3%	81.3%	84.9%	100.0%
● 緊急輸送道路における法面对策率	39.7%	39.7%	50.0%	80.0%

■ 交通安全事業

通学路等における自転車歩行者道・歩道・交差点改良の整備などを順次行い、快適な歩行者空間の確保と事故の防止を図っています。

自転車歩行者道整備事例



歩道整備事例



交差点改良整備事例

一般国道454号（八戸市尻内地内）

■ 事業の概要

八戸自動車道と国道454号との交差点である八戸西スマートI.Cの供用（平成31年3月23日供用）にあわせ、付加車線の設置等の交差点改良を実施

■ 事業期間

平成30年度



■ 橋梁補修・橋梁架替事業

● 橋梁の耐震補強

地震時の橋梁被災を防止し、救急・救援活動や緊急物資の輸送など復旧活動に重要な役割を果たすルートを確保するため、集中的に落橋防止装置の設置や、橋脚補強などの耐震補強を実施しています。

● 橋梁の補修・維持修繕

橋梁アセットマネジメント（※）に基づき、老朽化している床版や桁の補修、再塗装や高欄補修などを計画的かつ効率的に行い、加えて日常的な維持管理業務として伸縮装置の清掃等を実施し、橋梁の長寿命化を図っています。

● 橋梁の架け替え

橋梁の中でも劣化損傷が著しく、現状で危険な状態にある橋梁や、構造的な弱点を抱えた橋梁について、緊急性に応じて順次架け替えを行っています。

● 市町村の支援

市町村の管理する橋梁の適正な維持管理体制の確立を支援しています。



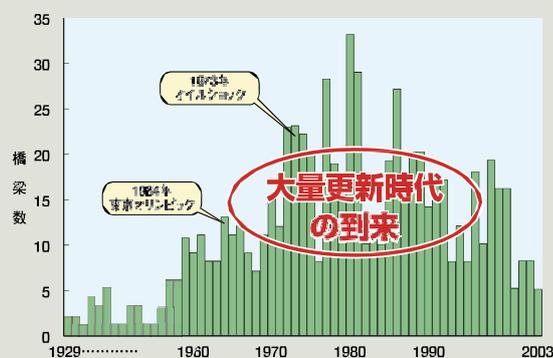
▲橋梁補修
一般県道 妙堂崎五所川原線
五所川原大橋

※ 橋梁アセットマネジメントとは…

橋はこれまで、悪くなってから架け替えるということを繰り返してきました。しかし今までのやり方では、近い将来到達する橋の大量更新時代に対応することが出来ません。

橋梁アセットマネジメントでは、対策が必要な橋に優先順位をつけ、計画的な維持管理を行うことにより、維持コストを最小化・平準化し、橋の長寿命化を実現させることが出来ます。

橋を取り巻く現状と課題



- 橋の多くは、高度成長期以降に建設が集中しています。
- 橋の寿命は約50年程度といわれる事もあり、近い将来、大量更新時代が到来することになります。
- しかし、厳しい財政運営で、橋ばかりにお金をかけるのは不可能です。
- そこで、計画的、戦略的な維持管理が必要です。

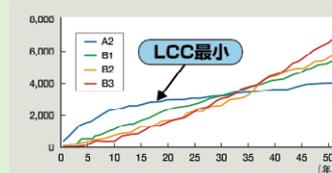
橋梁アセットマネジメント導入

①橋梁点検の精度向上

- ITの活用による制度の高い点検を実施
- 点検結果をもとに将来の劣化を予測

②最適補修時期を選定

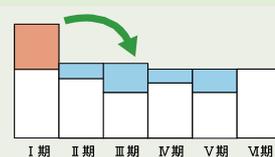
- 橋梁毎に最小維持管理コスト（LCC）を算出
- 維持管理コストが最小となる最適な補修時期を決定



▲LCC算出例

③計画的な維持管理の実施

- 予算との整合
- 優先順位、対策橋梁を決定



▲予算の平準化を行います

長寿命化修繕計画を策定。効率的な橋梁補修に取り組んでいます。
取組み状況を道路課HPで公表しております。



■ 災害防除事業

斜面からの落石や土砂の崩落などが発生した場合、通行止めにより、生活や産業に大きな影響を与えます。これを未然に防止するため、危険箇所に対して災害防止の対策を進めています。

● 対策事例

現場吹付法枠+緑化



(主) 岩木山環状線 鯉ヶ沢町

落石防護柵



国道454号 新郷村

落石防護網



国道102号 十和田市

道路防災点検

災害の発生が想定される箇所は、それぞれに番号を付けて管理しており、毎年点検を行っています。点検結果は防災カルテにとりまとめ、『要対策』と判定された箇所から優先的に対策工事を行っており、『対策不要』と判定されるまでは点検を継続して経過を観察しています。



施工前 (要対策)



フリーフレーム
工法



施工後 (対策完了)

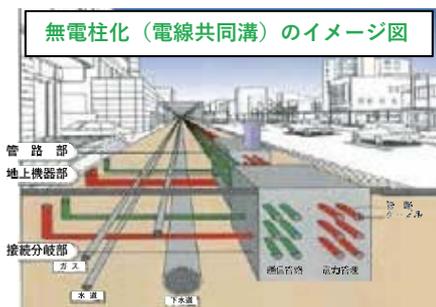
国道339号 外ヶ浜町

■ 無電柱化事業

無電柱化の効果

- 防災・減災機能の向上
- 都市景観の向上
- 電力の安定供給
- 歩道空間の確保、バリアフリー化
- 情報通信網の強化

一般県道 町居平賀停車場線 平川市柏木町



整備前



整備後

■ 本項目の目標と指標

目標

DXを活用した効果的な整備や持続可能な維持管理を行います
次世代自動車に対応した道路整備を推進します

	R4末時点	R6末時点	R10末時点	R25末時点
● 橋梁健全率（構造安全率）	86.4%	91.0%	90.0%	100.0%
● 舗装健全率（走行安全率）	82.0%	85.3%	85.0%	90.0%
● 橋梁点検DX活用率	0.0%	40.0%	100.0%	100.0%
● 舗装点検DX活用率	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■ 道路舗装点検・管理業務のDX構築

■ 道路舗装点検の現状

- ・5年に一度の路面性状調査（舗装点検）
- ・道路パトロールによる日常点検

■ 問題点

- ・調査費用が莫大、かつ、一度の調査に対する延長が短い
- ・人力による維持管理の負担が大きい

■ 道路維持管理の現状

- ・青森県は積雪寒冷地であり、融雪期にポットホールが多数発生している状況

■ 問題点

- ・ポットホールが発生してから修繕する事後保全型の管理により、維持管理対応が追いつかない

上記問題を解決するために、DX構築

■ 道路舗装点検・管理業務のDX構築

- ・道路パトロール車両にスマホを搭載し路線を走行することで、AIによる舗装点検が可能となり、効率的で詳細な点検を実施する
- ・調査費用も安価、かつ、1年で全管理延長の舗装点検が可能となる
- ・AIにより舗装損傷度からポットホール発生箇所の予測が可能となり、点検・診断・施工・マネジメントが一体となった予防保全型メンテナンスの構築に取り組んでいる



■ 橋梁のAI点検診断

これまでの知見とAIが融合したシステムを活用することで、点検者によるばらつきや見落としのない信頼性の高い点検を実施します。



AI診断結果（次世代） ▶ 損傷程度：d 健全度：3.0

劣化機構：漏水・遊離石灰
損傷程度：d 健全度：3.0

診断作業は、基準書と過去の診断記録を学習させたAIに、写真を読み込ませることで、自動で診断を行う

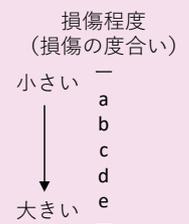
画像中の損傷割合：61.97% AIが損傷部を自動で認識し、損傷範囲が青色で強調される。



人診断結果（従来） ▶ 損傷程度：d 健全度：3.0

- ・ひび割れから水が生じているため劣化機構は漏水・遊離石灰と推定される
- ・漏水が進行し遊離石灰が生じているため 損傷程度d
- ・要素の総合的な健全度は3.0

診断作業はマニュアルを参考に人が考えて行う





交流・物流の拡大と連携を強化するあおもりの道づくり

■ 本項目の目標と指標

目標

主要幹線道路ネットワークの構築を推進します
物流拠点や防災拠点・医療拠点へのアクセスを強化します
市街地の円滑な道路交通を確保します

	R4末時点	R6末時点	R10末時点	R25末時点
● 高規格道路整備率	71.6%	71.6%	76.7%	100.0%
● 3次医療圏内人口カバー率 (2次・3次医療圏内人口カバー率)	91.9% (99.1%)	91.9% (99.1%)	92.3% (100.0%)	93.1% (100.0%)

■ 青森県の幹線道路網について

高規格幹線道路をはじめとした広域的な高速道路体系の整備とともに、地方生活圏中心都市間の連携や交通拠点へのアクセス強化などを支援する国道・県道の整備を推進します。

現在進められている主な事業

路線名	箇所名	延長
① 一般国道101号 津軽自動車道 柏浮田道路 (※)	つがる市	12.3km
② 一般国道103号 奥入瀬 (青撫山) バイパス (※)	十和田市	5.2km
③ 一般国道279号 下北半島縦貫道路 むつ南バイパス	むつ市	8.7km
④ 一般国道279号 下北半島縦貫道路 奥内バイパス	むつ市	11.0km
⑤ 一般国道279号 下北半島縦貫道路 横浜北バイパス	むつ市 ～横浜町	10.4km
⑥ 一般国道279号 下北半島縦貫道路 横浜南バイパス	横浜町	7.0km
⑦ 一般国道4号 (※) 下北半島縦貫道路 野辺地七戸道路	野辺地町 ～七戸町	7.1km
⑧ 一般県道 後平青森線 後平バイパス	七戸町	1.6km

(※) は国土交通省青森河川国道事務所の事業です。



横浜北バイパス
((仮)横浜インターチェンジI.C)



むつ南バイパス
((仮)むつ奥内I.C)

令和7年度開通予定箇所

路線名	箇所名	延長
① 一般国道279号 下北半島縦貫道路 むつ南バイパス	むつ市	5.3km
② 一般国道279号 下北半島縦貫道路 横浜北バイパス (部分供用)	むつ市 ～横浜町	1.5km
③ 一般国道279号 下北半島縦貫道路 横浜南バイパス	横浜町	7.0km

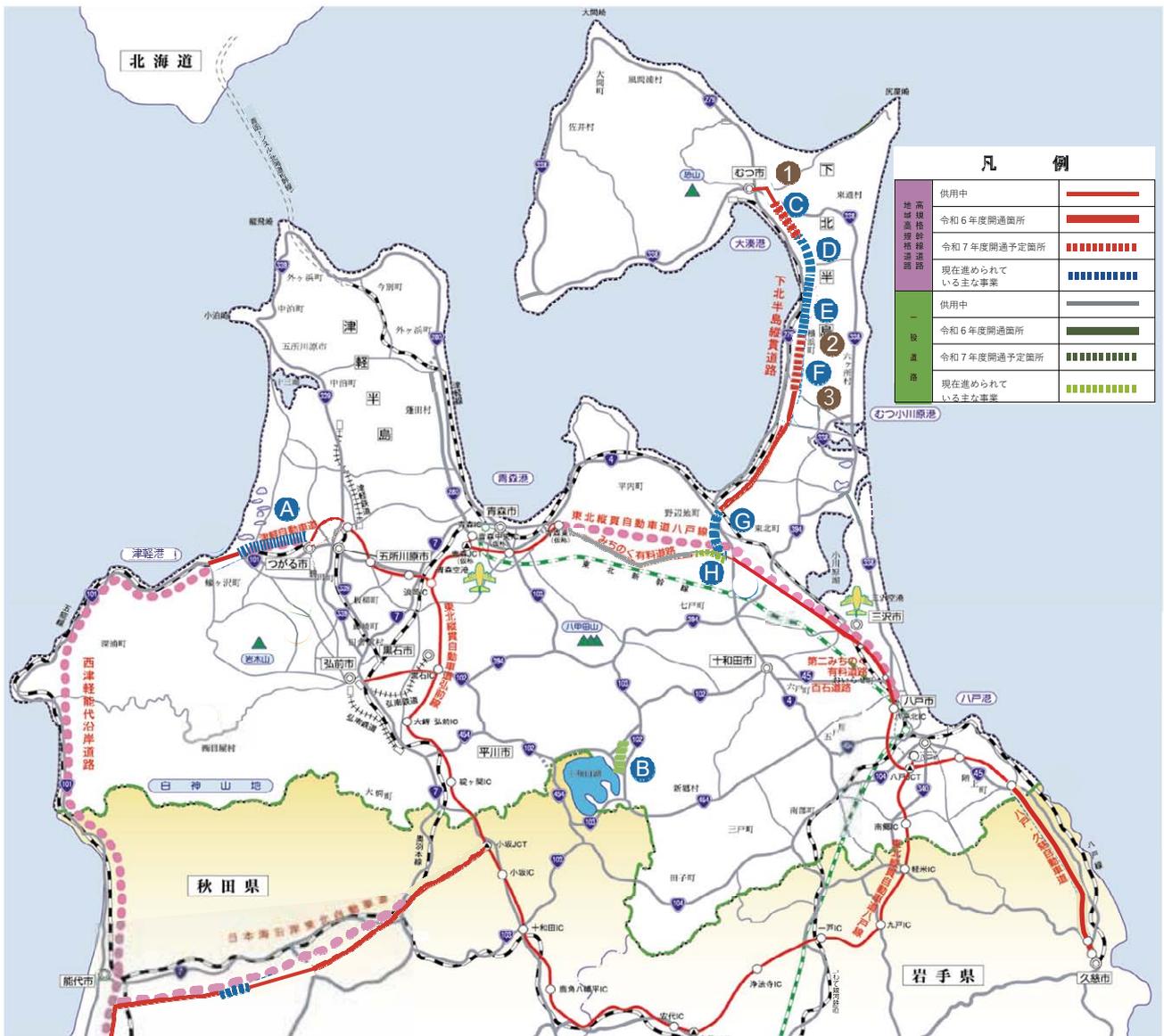


青撫山バイパス



一般国道45号 上北自動車道 天間林道路
(令和4年11月27日供用)

事業位置図



■ 一般国道7号 鶴ヶ坂防災

■ 事業の概要

- ・ 国道7号の鶴ヶ坂地区における雪や道路構造による通行止めのリスク軽減を目的とした防災事業
- ・ 令和3年12月の大雪による交通障害に伴い、長時間にわたる通行止めが発生したこと等を踏まえて防災機能強化を実施

■ 事業の効果

- ・ 4車線拡幅により立ち往生車両発生時でも最低1車線の交通確保が可能となるなど安定した道路ネットワークの確保
- ・ 4車線拡幅により、交通混雑が緩和

■ 令和7年度の事業内容

- ・ 調査設計、用地買収



出典：地理院地図



スタック発生状況



降雪時の混雑状況



現地状況

■ 下北半島縦貫道路

下北地域の中心都市であるむつ市を起点とし、上北郡七戸町で東北縦貫自動車道八戸線と連絡する延長約70kmの地域高規格道路で、広域交流の促進や地域間の連携強化を図るものです。



下北半島縦貫道路の必要性

- ①半島性の解消、地域間交流の促進
青森市～むつ市間を概ね1時間で連絡
- ②物流ネットワークの強化
定時性の確保、安全性の向上
- ③緊急医療体制の支援
三次救急医療施設への連絡強化
- ④国家プロジェクトの支援
エネルギー供給基地へのアクセス強化

令和7年度の整備方針

- **むつ南バイパス (L=8.7km)**
むつ市街地で慢性的に発生している交通渋滞緩和を図るため、舗装工事を推進します。
- **横浜北バイパス (L=10.4km)**
豪雪等災害時における代替路の確保、(仮)横浜I.C.に直結する道の駅「よこはま」との連携を図るため、改良工事、舗装工事を推進するとともに、横浜I.C.以北の改良工事を推進します。
- **横浜南バイパス (L=7.0km)**
第1次緊急輸送道路の機能強化、救急医療施設へのアクセス性向上を図るため、舗装工事を推進します。
- **奥内バイパス (L=11.0km)**
下北半島縦貫道路のミッシングリンク解消、国道279号のダブルネットワーク化を図るため、調査、設計を推進します。

供用区間の整備効果

高速性・定時性の確保

開通区間の並行現道には、信号の連続により渋滞する野辺地市街地やJR大湊線と平面交差する踏切があるため、通過には時間がかかりました。



渋滞する野辺地市街地



JR大湊線と平面交差する踏切



現道の障害を回避することができ、また交差道路はすべて立体構造のため、高速性・定時性を有した安定走行が可能となりました。



開通により安定走行が可能



安全性の確保

県内有数の豪雪地帯である野辺地町の市街地において、路肩への堆雪により、道路幅が狭くなり、走行性の悪化が発生していました。またアップダウンの激しい箇所が存在し、視認性が悪く、冬期のスリップ事故の原因となっていました。



路肩堆雪による幅員狭小状況



アップダウンの激しい現道



開通により安定走行が可能



I.C (インターチェンジ) と直結する道の駅を核とした防災拠点づくり

下北半島縦貫道路(仮)横浜インターチェンジと直結する道の駅よこはま周辺エリアを、「産業振興」、「地域福祉」、「防災」の機能を有する地方創生拠点として整備し、交流人口の拡大や少子高齢化に対応した安全・安心な地域づくり、地域防災力の向上や広域的な復旧振興に資する強靱な社会基盤の実現を目指しています。

下北半島縦貫道路
(仮)横浜インターチェンジに直結
道の駅よこはまエリア全景 ▶



■ 一般国道101号 津軽自動車道

柏浮田道路

■ 事業の概要

- ・津軽自動車道の一部を構成する一般国道の自動車専用道路

■ 事業の効果

- ・高盛土等で吹きだまり雪堤が形成されにくくなり、冬期走行環境が改善
- ・ブランドメロンのさらなる出荷量の増加等、地域産業の活性化
- ・主要な交通拠点からのアクセス性が向上し、周遊エリアの拡大など周遊観光を支援

■ 令和7年度の事業内容

- ・調査設計、用地調査、用地買収、改良工事



※一般国道101号津軽自動車道は、国土交通省において整備中です。



(仮) 浮田IC周辺の状況



(仮) 木造IC周辺の状況



(仮) つがるIC周辺の状況

■ 一般国道101号 (追良瀬Ⅱ期バイパス)

■ 路線の概要

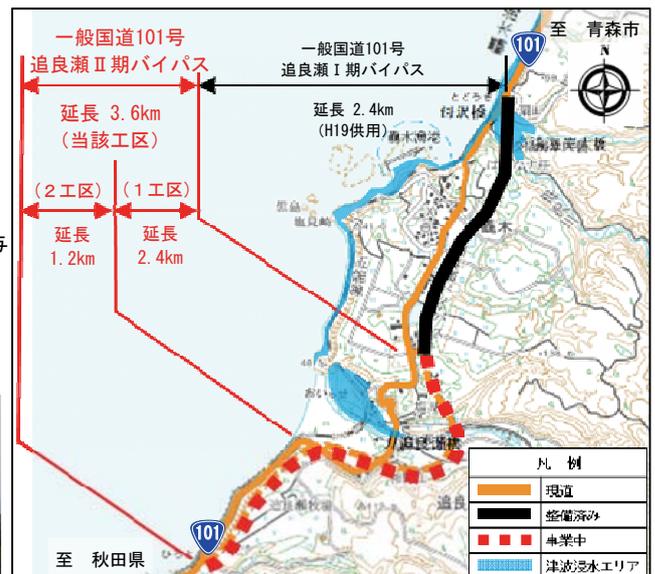
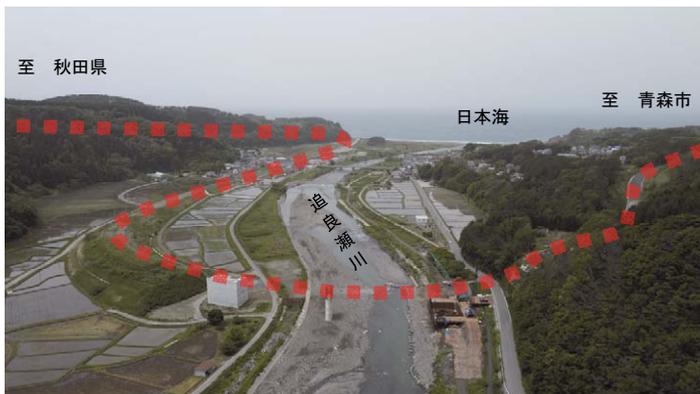
- ・津軽地域と秋田県能代港、青森港を結ぶ重要物流道路

■ 事業の効果

- ・現道における平面線形不良区間及び過去の通行止め発生区間の解消
- ・平常時、災害時を問わない安定的な輸送の確保
- ・当該路線整備に伴う周辺港湾の取扱量増加による産業振興支援への寄与

■ 令和7年度の事業内容

- ・橋梁上部工

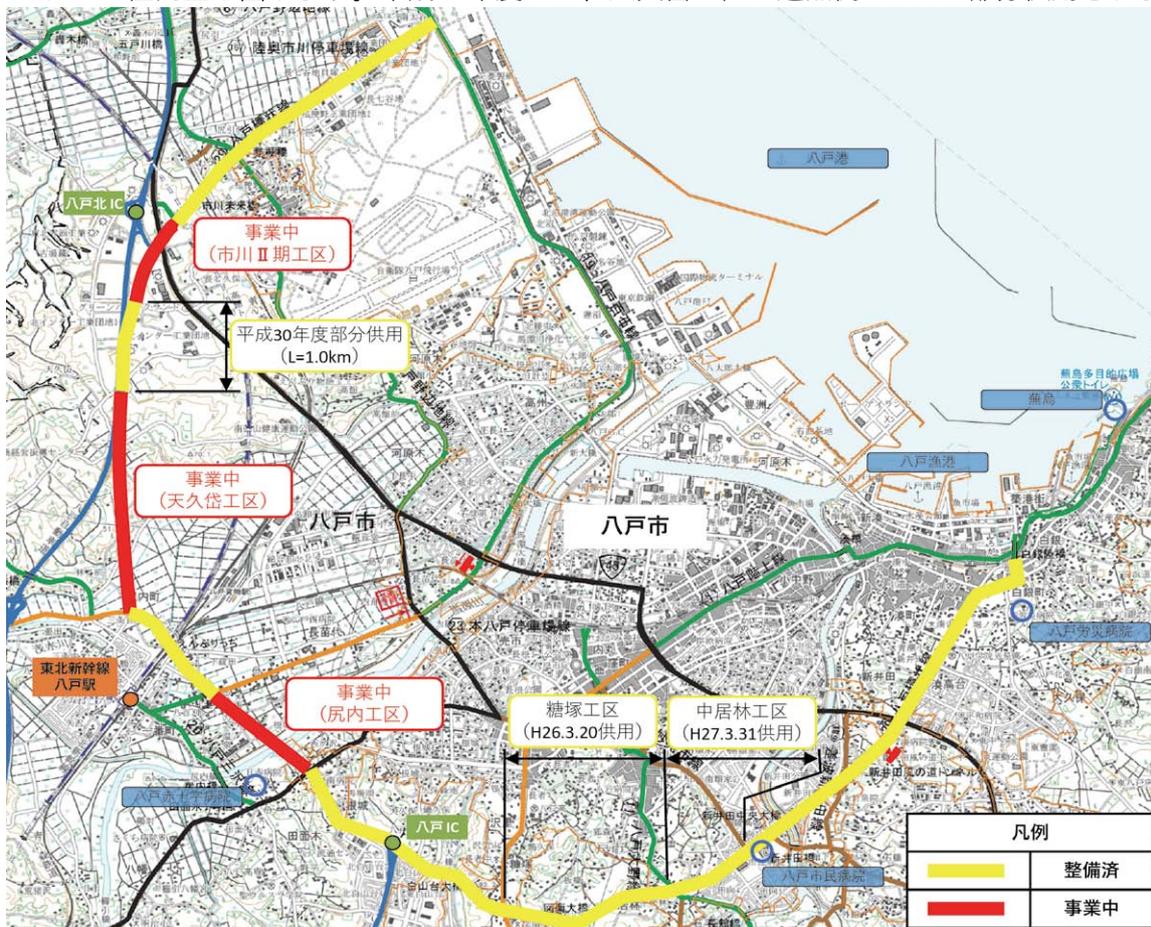


▲ 追良瀬Ⅱ期バイパス概要図

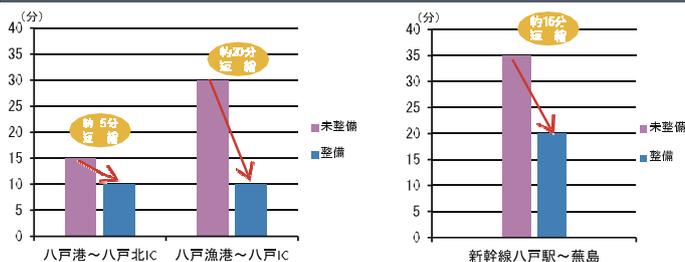
◀ 追良瀬Ⅱ期バイパス周辺の状況

■ 主要地方道 八戸環状線

主要地方道八戸環状線は、東北縦貫自動車道八戸北IC・八戸ICを經由し、重要港湾八戸港に至る幹線道路で、各種交通結節点を連結し物流を支えるとともに津波災害時の避難路となる重要路線です。現在は天久岱工区、市川Ⅱ期工区（道路事業）及び尻内工区（街路事業）の整備を進めており、各種交通結節点及び総合病院へのアクセス性向上を図ります。平成30年度には、天久岱工区の起点側1.0kmが部分供用されました。



所要時間の変化 (分)



整備の効果

- ① 高速道路IC、新幹線駅、港湾などの交通拠点を連絡
- ② 中心市街地に集中する自動車交通の分散
- ③ 産業の活性化や市民生活の利便性向上

■ 中居林工区開通状況 (平成27年3月31日供用開始)



■ 天久岱工区事業実施状況



自然環境と共生するあおもりの道づくり

■ 本項目の目標と指標

目標

貴重な自然環境を保護しながら道路空間を確保します
地域資源の利活用につながる道づくりを進めます

	R4末時点	R6末時点	R10末時点	R25末時点
● 奥入瀬溪流におけるCO2削減率	25.5%	41.7%	34.5%	100.0%
● 主要渋滞箇所解消率	8.2%	8.2%	13.3%	38.0%

■ 交通渋滞によるオーバーツーリズム

■ 溪流沿いの現状

- 我が国を代表する景勝地の「奥入瀬溪流」沿いを走る「国道102号」は、十和田湖～八甲田を連絡する重要な観光道路であり、津軽～南部地方を結ぶ産業・生活道路でもある。
- 十和田八幡平国立公園の特別保護地区に指定されている奥入瀬溪流区間は、観光シーズンには溪流を訪れる車両による渋滞が発生し、溪流の自然環境への悪影響が懸念されている。



上記問題点を解決するため

■ 大型車のすれ違い困難な七曲区間

■ 現状

- 溪流区間を迂回する道路もつづら折りで道路幅が狭く、すれ違いが困難な状況。
- 奥入瀬溪流区間の迂回路として機能するが、道路構造上大型車は一方通行規制となる。



■ 国道103号奥入瀬（青楓山）バイパス事業（H25～）

■ 青楓山バイパスの整備の開始

- 溪流区間を迂回する青楓山バイパスが国土交通省の直轄権限代行事業として平成25年に採択された。
- 青楓山バイパス開通後は、溪流内の一般車両通行止めを実施することで、奥入瀬溪流の自然を保護することが可能になる。



しかし奥入瀬溪流は県内有数の観光地なので

■ 「地元関係者」や「学識者」と将来の奥入瀬溪流についての在り方を検討

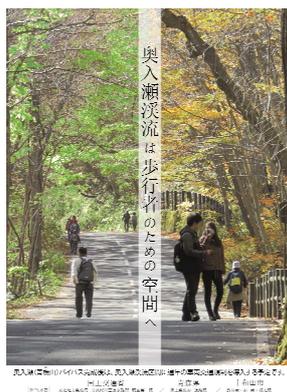
奥入瀬十和田利活用協議会（R5発足）
（協議会長：青森県知事）



奥入瀬溪流利活用検討委員会（H25発足）
（委員長：筑波大学 石田名誉教授）

- 地元関係者と協議を行い、青楓山バイパス開通後の奥入瀬溪流の在り方について協議している。
- 現在は、青楓山バイパス開通後の事業計画案を作成中。

- 地域の課題や将来の目指す姿、これを達成するための戦略について利活用検討委員会で協議し、平成30年に奥入瀬ビジョンとして取りまとめた。



■マイカー交通規制の実施

- 自然環境保全と渋滞解消を目的に、現在奥入瀬（青楓山）バイパス事業が進んでおり、同時にバイパス開通後には、奥入瀬溪流区間の交通規制をする取り組みが進んでいます。
- 7日間（令和6年10月21日（月）～10月27日（日））、青楓山バイパス開通後に向けた社会実験を実施し来訪者にはマイカーのいない上質な空間を提供しました。
令和7年度は10月27日（月）～11月2日（日）の7日間を予定しています。



■将来の担い手不足を見据えた自動運転実証実験

- 将来の担い手不足を見据えた自動運転実証実験を令和6年10月21日（月）～27日（日）に実施しました。
- 3種類の自動運転車両が同時に奥入瀬溪流で走行実験しました。
- バイパス完成後に実現する天然の自然博物館「奥入瀬フィールドミュージアム」として、エコツアーガイドが同乗するなど高付加価値化した観光コンテンツと、単なる移動手段ではない奥入瀬ならではの自動運転走行実験を実施しました。



▲MiCa



▲iino type-S1300



▲GSM8

■奥入瀬アカデミーの開催

- 奥入瀬アカデミーとは、奥入瀬の魅力や価値等の発信、知的情報の蓄積、奥入瀬に関与する人材の育成などを目的に、産学官連携で取り組む継続育成プログラムの総称です。
- ①専門講座、②県民出前講座、③エコツアーガイド養成講座の3つの主軸で構成し、「奥入瀬のことを、もっと知りたい」と思う人であれば、どなたでも参加可能です。
- 過年度に実施した小中学生を対象としたフィールド体験学習も当プログラムに含むなど、子どもから大人まで幅広い層が奥入瀬の自然をまるごと「学び」の場として活用できる機会を提供することで、教育カリキュラムと観光資源とを融合させたバーチャル学校の開校を目指します。



▲専門講座（アカデミー講座）



▲専門講座（アカデミー講座）



▲県民出前講座（未来の奥入瀬講座）

道路に関する予算

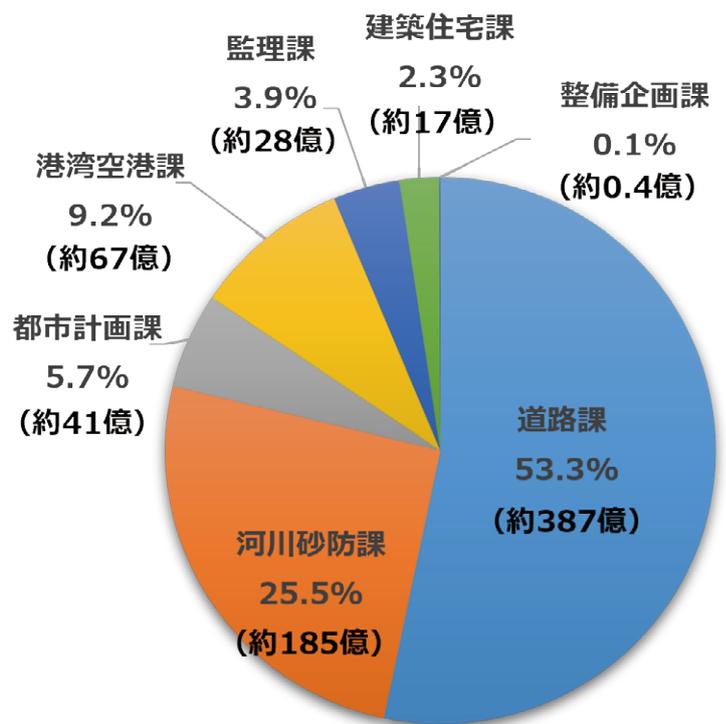
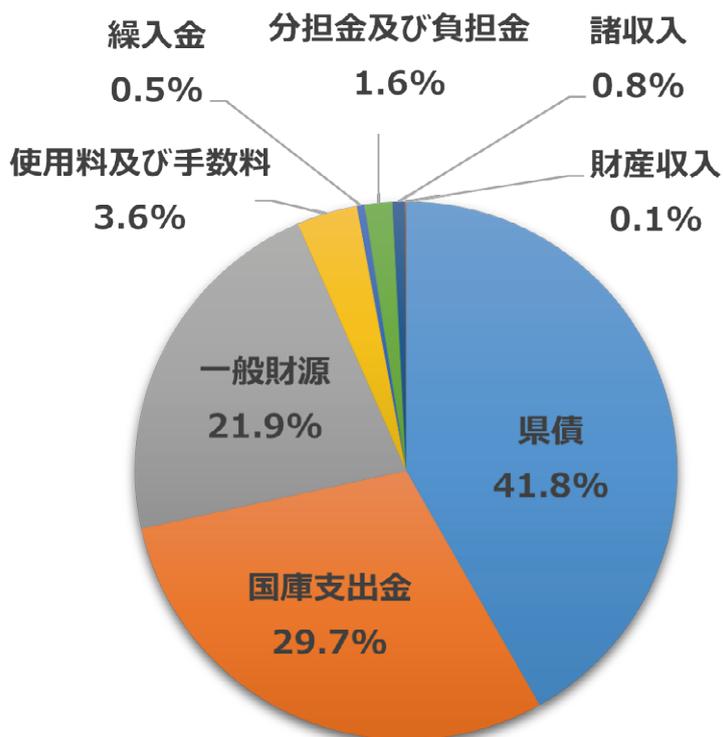
道路事業予算

今後も引き続き、青森県をとりまく社会環境の変化とともに多様化していくニーズを的確に捉えた道路行政を進めていきたいと考えています。

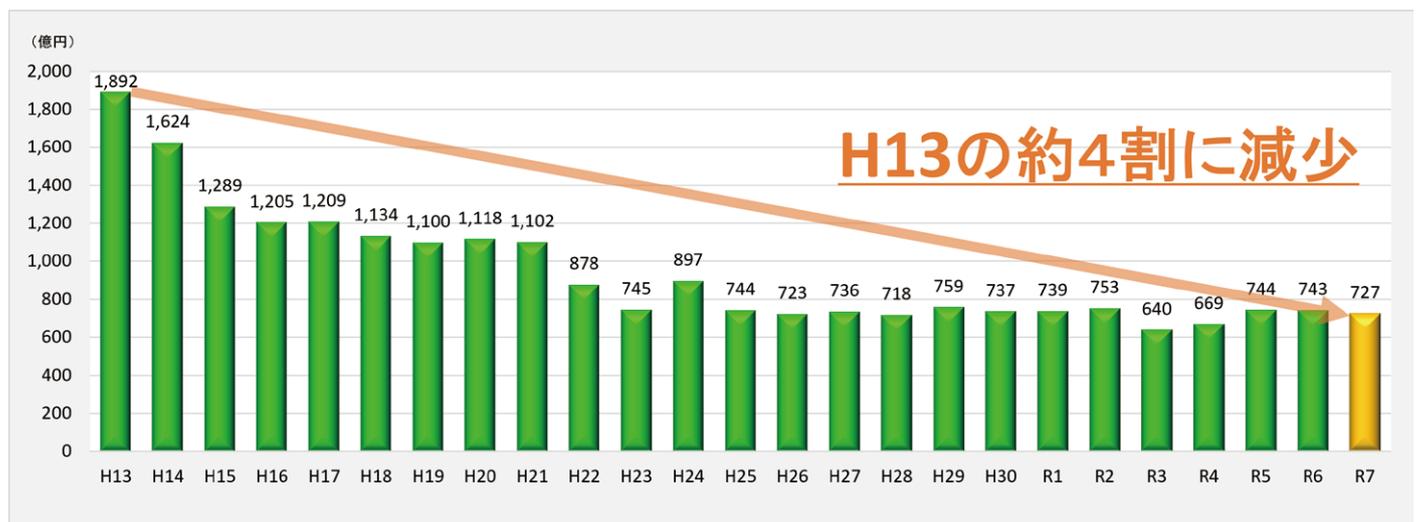
令和7年度 県土整備部一般会計予算(当初)の構成

歳入合計 72,676,007(単位:千円)

歳出合計 72,676,007(単位:千円)



県土整備部一般会計予算の推移



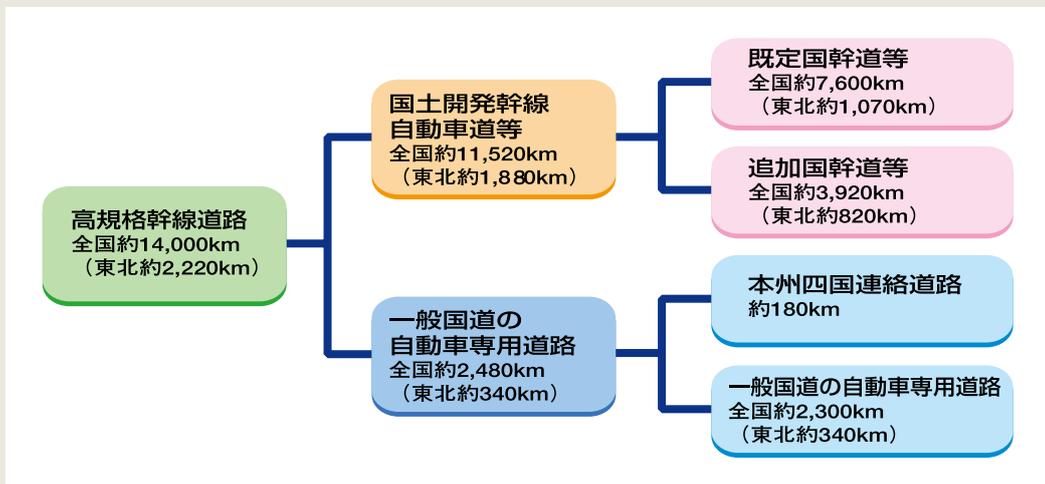
高規格道路

高規格幹線道路とは…

高規格幹線道路とは、自動車の高速交通の確保を図るために必要な道路で、全国的な自動車交通網を構成する自動車専用道路です。第4次全国総合開発計画（昭和62年6月30日閣議決定）において提唱された“交流ネットワーク構想”を実現するため、「高速交通サービスの全国的な普及、主要拠点間の連絡強化」を目標とし、地方中枢・中核都市、地域の発展の核となる地方都市及びその周辺地域等からおおむね1時間程度で利用可能となるよう、14,000kmの高規格幹線道路網が定められました。

■高規格幹線道路の整備体系

高規格幹線道路の整備に当たっては、効率的な整備を図る観点から、路線の計画を勘案し、国土開発幹線自動車道等または、一般国道の自動車専用道路として同時並行的に推進することとしています。このうち、国土開発幹線自動車道等については、昭和62年9月1日の国土開発幹線自動車道建設法の一部改正が行われ、新たに3,920kmが予定路線として位置づけられました。



青森県の高規格幹線道路

令和7年4月現在

	道路名	全体延長	うち県内延長	県内状況		
国土開発幹線自動車道等 国幹道法に基づく高規格幹線道路	東北縦貫自動車道弘前線	698km	57km	全区間供用済		
	東北縦貫自動車道八戸線	167km	113km	岩手県境～八戸IC	供用済	L=14.3km
				八戸JCT～八戸北IC	供用済	L=13.2km
八戸北IC～青森東IC	基本計画区間	L=70km				
				有料道路		
				第二みちのく有料道路	供用済	L=9.7km
				百石道路	供用済	L=6.1km
				一般国道45号		
				上北道路	供用済	L=7.7km
				上北天間林道路	供用済	L=7.8km
				天間林道路	供用済	L=8.3km
				青森東IC～青森JCT	供用済	L=15.6km
	日本海沿岸東北自動車道	322km	(一)	(県内区間については東北縦貫自動車道弘前線と重用)		
一般国道の自動車専用道路 国土交通大臣の指定に基づく高規格幹線道路	津軽自動車道	38km	38km	青森市浪岡～つがる柏IC	供用済	L=19.5km
				柏浮田道路	事業中	L=12.3km
				鱒ヶ沢道路	供用済	L=3.7km
浪岡IC～青森市浪岡				基本計画区間	L=約2km	
三陸沿岸道路	51km	20km	八戸南環状道路	供用済	L=8.6km	
			八戸南道路	供用済	L=8.7km	
			洋野階上道路(階上町～岩手県境)	供用済	L=3km	
			228km			

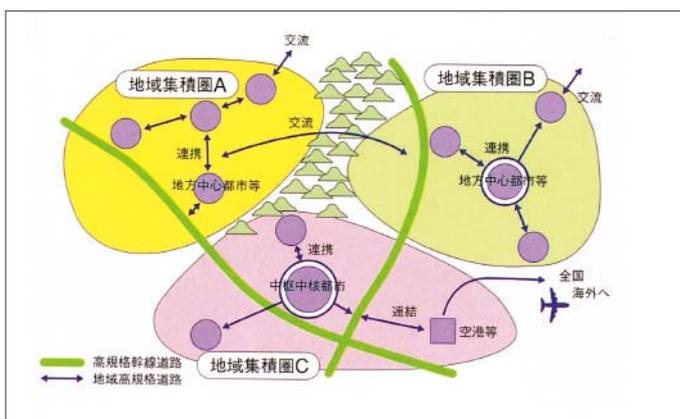
地域高規格道路とは…

地域高規格道路とは、高規格幹線道路と一体となって幹線道路ネットワークの軸となる道路で、60km/h以上の速度サービスを提供することを目的として、2車線以上の車線を確保し、自動車専用道路、または、これと同程度の機能を有した、質の高いサービスを提供できる道路です。

■地域の暮らしを豊かにする地域高規格道路の整備

活力ある地域づくりを実現するためには、交流の促進により、それぞれの地域が広域的に連携し、全体として実質的な集積規模の拡大を図ることが必要となっています。このため、全国的な高規格幹線道路と一体となって地域の連携を強め、集積を高める地域高規格道路の整備を推進します。

地域高規格道路は広域道路（交流促進型）に位置づけられた区間から選定されます。



青森県の地域高規格道路

令和7年4月現在

	名称	区間	延長	備考	
地域高規格道路	下北半島縦貫道路	むつ市～七戸町	約70km	むつ南バイパス	8.7km (事業中 内3.4km供用済)
				奥内バイパス	11.0km (事業中)
				横浜北バイパス	10.4km (事業中)
				横浜南バイパス	7.0km (事業中)
				吹越バイパス	5.8km (供用済)
				有戸北バイパス	6.3km (供用済)
				有戸バイパス	6.3km (供用済)
				野辺地バイパス	6.9km (供用済)
				野辺地七戸道路	7.1km (事業中)
				弘前黒石IC連絡道路	弘前市～黒石市
西津軽能代沿岸道路	鱒ヶ沢町～秋田県能代市	約90km(県内約60km) 約81km(候補路線除く)	候補路線		



(仮) 横浜インターチェンジ



弘前黒石IC連絡道路

青森県の広域道路整備基本計画

広域道路整備基本計画とは…

「広域道路整備基本計画」は、国土全体、地域全体という広域レベルの社会交流を支え、地域の連携を促すネットワークとして高規格幹線道路の整備と合わせ、地域高規格道路網や、これらと一体的に機能する広域的な幹線道路網の整備を計画的に進めるため、関連する交通機関、交通拠点（空港、港湾、高速鉄道駅）や都市拠点等の地域拠点をはじめ、国土利用、土地利用等の整合のとれた幹線道路網計画を策定するものです。

■道路整備の目標

広域道路選定の基本的考え方

- 広域的には、地方生活圏中心都市、二次生活圏中心都市、産業拠点、観光拠点及び交通結節点を有機的に連絡し、高規格線道路を補完する道路網
- 都市部については、都市の機能強化を図る環状・放射道路、交通拠点間を連絡する道路

広域道路（交流促進型）の選定の基本的考え方

- ① 広域集積圏相互の連携を強化する道路
- ② 都市の環状道路
- ③ 半島地域の骨格の形成など、地域集積圏内の主要な市町村と核となる主要都市との連絡を強化する道路
- ④ ①～③の道路と高規格幹線道路との連絡を強化する道路
- ⑤ ①～④の道路と空港・新幹線駅・港湾などの交通拠点、または地域振興プロジェクトなどの産業拠点との連絡を強化する道路

地域交流促進のための将来目標

- 県都青森市と地方生活圏中心都市間
- 地方生活圏中心都市と圏域内市町村間
- 高規格同御 IC への到着時間

概ね1時間

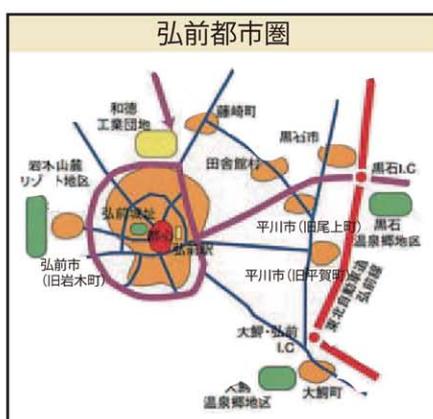
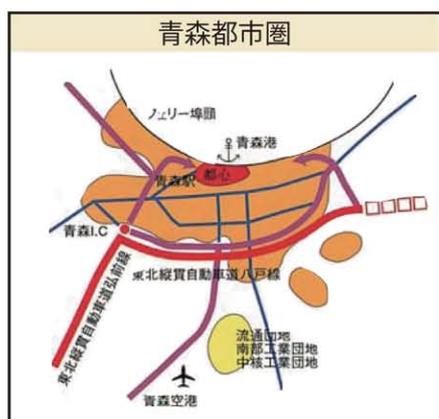


津軽自動車道（鱒ヶ沢道路）

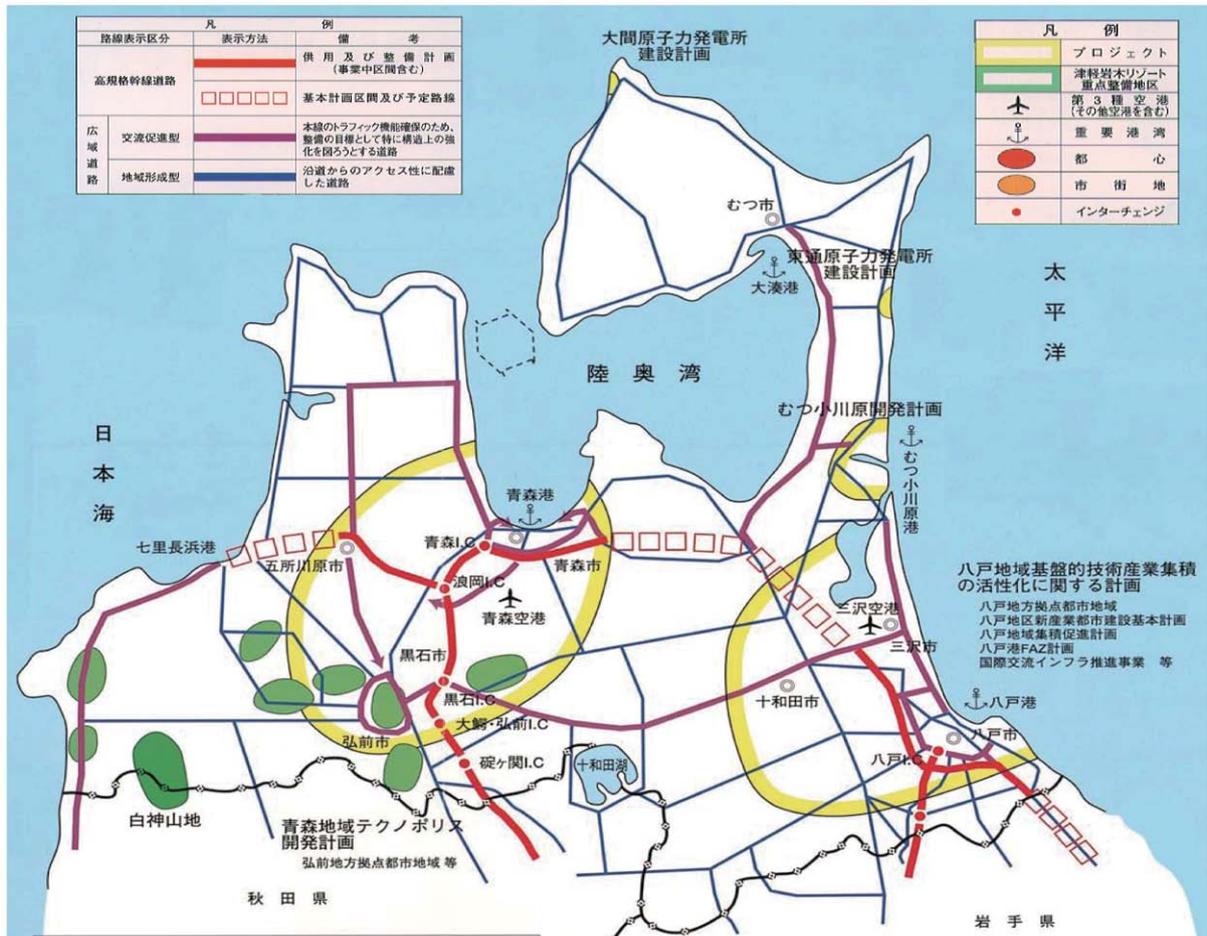


上北自動車道（上北天間林道路）

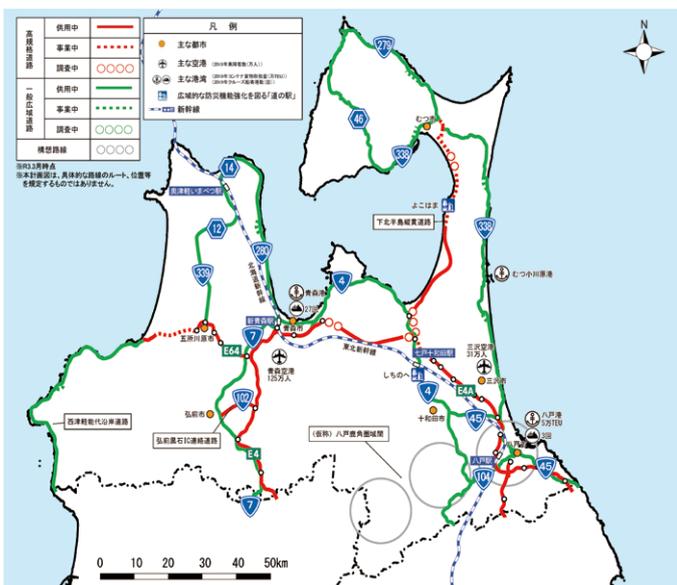
■青森県広域道路網マスタープラン



■青森県広域道路網マスタープラン (H5.12)



■広域道路ネットワーク計画 (R3.6)



■広域道路ネットワーク路線一覧表

詳しくは「新広域道路交通計画」をご覧ください。

路線名	分類	起点	終点
下北半島縦貫道路	高規格道路	むつ市	上北郡七戸町
弘前黒石IC連絡道路	高規格道路	弘前市	黒石市
西津軽能代沿岸道路	一般広域道路	西津軽郡能代町	西津軽郡深浦町
一般国道4号	一般広域道路	三戸郡三戸町	青森市
一般国道7号	一般広域道路	平川市	青森市
一般国道45号	一般広域道路	三戸郡上町	十和田市
一般国道104号	一般広域道路	八戸市	三戸郡三戸町
一般国道279号	一般広域道路	下北郡大間町	むつ市
一般国道280号	一般広域道路	青森市	東津軽郡今別町
一般国道338号	一般広域道路	下北郡大間町	下北郡佐井村
一般国道338号	一般広域道路	むつ市	上北郡おいらせ町
一般国道339号	一般広域道路	五所川原市	北津軽郡中泊町
青森県道今別館田線	一般広域道路	東津軽郡今別町	東津軽郡外ヶ浜町
青森県道ヶ沢館田線	一般広域道路	北津軽郡中泊町	東津軽郡外ヶ浜町
青森県道川内佐井線	一般広域道路	むつ市	下北郡佐井村
(仮称)八ヶ岳角間線	構想路線	八戸市	三戸郡田子町

※高規格道路について、高規格幹線道路は標記していない
※起点・終点については、県内の起点・終点を記載



凡		例
高規格幹線道路 (高規格道路)	高速道供用済	
	基本計画	
	並行路線供用済	
	並行路線事業中	
	一般国道路線供用済	
	一般国道路線事業中	
高規格道路 (地域高規格道路)	供用済	
	事業中	
	計画路線	
その他道路	候補路線	
	有料道路	
	直轄国道	
	補助国道	
	県道・その他	

※高速道とは高速自動車国道（A路線）
 ※並行路線とは高速自動車国道に並行する自動車専用道路（A'路線）
 ※一般国道路線とは一般国道自動車専用道路（B路線）

下北半島縦貫道路
L 約 70 km

太平洋
 三陸沿岸道路
 (八戸・久慈自動車道)
 L 約 51 km (県内約 20 km)

道路の整備に関するプログラム位置図

雪国あおもりの暮らし支える道づくり

No	路線名	事業概要	前期5年 (2023年度～2027年度)	後期5年 (2028年度～2032年度)	総事業費 (百万円)
国事業					
1	国道4号ほか	除雪	事業継続	事業継続	
県事業					
2	(主) 弘前岳ヶ沢線(中村町)	堆雪幅確保	事業継続	全線完成	627
3	国道101号(横瀬)	堆雪幅確保	事業継続	全線完成	621
4	国道338号(川内町松川)	融雪溝設置	事業継続	全線完成	620
5	(一) 戸来十和田線(中渡～松屋敷)	堆雪幅確保	事業継続	全線完成	700
6	国道101号ほか11路線	除雪	事業継続	事業継続	
7	(主) 八戸階上線ほか46路線	除雪	事業継続	事業継続	
8	(一) 金木停車場線ほか183路線	除雪	事業継続	事業継続	
9	国道101号ほか11路線	除雪機械購入	事業継続	事業継続	
10	(主) 八戸階上線ほか46路線	除雪機械購入	事業継続	事業継続	
11	(一) 金木停車場線ほか183路線	除雪機械購入	事業継続	事業継続	

※当プログラムの記載内容については、現時点での今後の実施の目標を示したものであり、財政状況、事業の進捗状況等により、今後適宜見直ししていくこととしております。

※No. 1、No. 6～No. 11については、管理路線全域となるため位置図はありません。

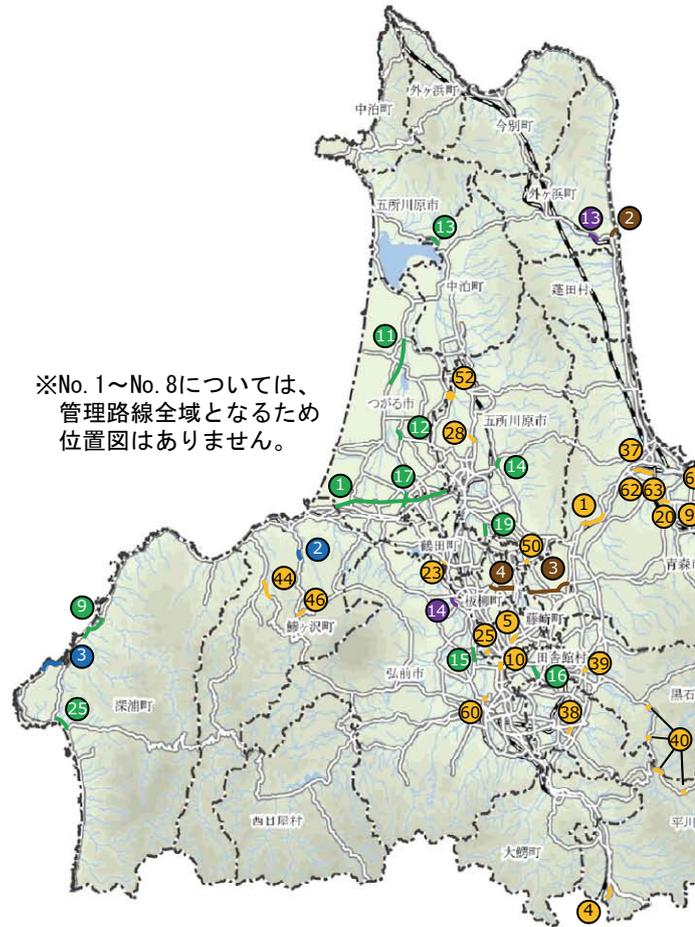
次世代へつなく持続可能なあおもりの道づくり

No	路線名	事業概要	前期5年 (2023年度～2027年度)	後期5年 (2028年度～2032年度)	総事業費 (百万円)
国事業					
1	国道45号ほか舗装補修	舗装補修	事業継続	事業継続	
2	国道4号ほか橋梁等点検	橋梁等点検	事業継続	事業継続	
3	国道4号ほか施設点検補修	防災施設等点検	事業継続	事業継続	
4	国道4号ほか橋梁補修	橋梁補修	事業継続	事業継続	
県事業					
5	補助国道(県管理全線)	橋梁点検	事業継続	事業継続	
6	都道府県道(県管理全線)	橋梁点検	事業継続	事業継続	
7	県管理道路	舗装点検	事業継続	事業継続	
8	(一) 荒川青森停車場線ほか橋梁補修	橋梁補修	事業継続	事業継続	
9	国道102号(奥瀬外)	舗装補修	事業継続	全線完成	550
10	国道104号(白萩平外)	舗装補修	事業継続	全線完成	600
11	国道338号(原田外)	舗装補修	全線完成		630
12	国道394号(倉内外)	舗装補修	事業継続	全線完成	500
13	(主) 錦ヶ沢壺田線(壺田小国外)	舗装補修	全線完成		500
14	(主) 弘前柏線(種市外)	舗装補修	全線完成		610
15	(一) 折茂上北町停車場線(上北南)	舗装補修	事業継続	全線完成	500

※No. 1～No. 8については、管理路線全域となるため位置図はありません。

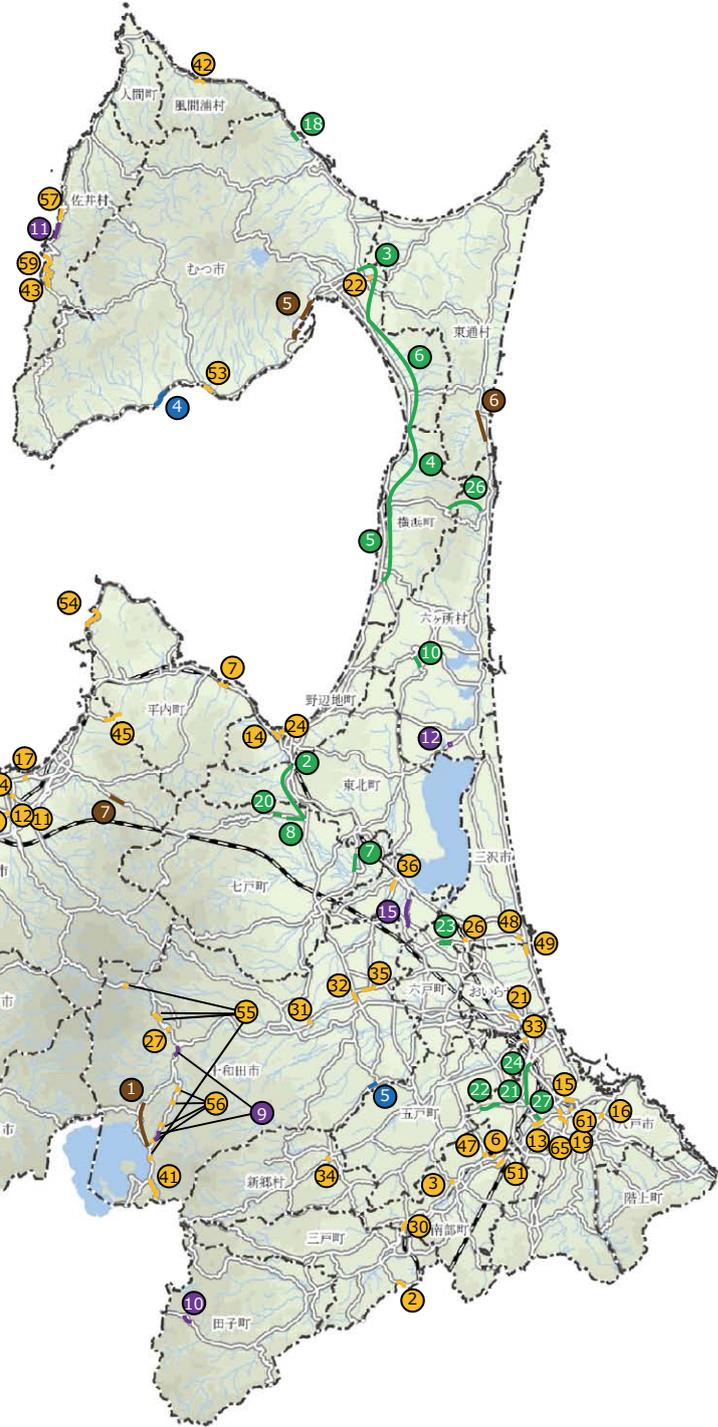
交流・物流の拡大と連携を強化するあおもりの道づくり

No	路線名	事業概要	前期5年 (2023年度～2027年度)	後期5年 (2028年度～2032年度)	総事業費 (百万円)
国事業					
1	国道101号(柏浮田道路)	高規格道路	事業継続	事業継続	38,000
2	国道4号(野辺地七戸道路)	高規格道路	事業継続	事業継続	29,000
県事業					
3	国道279号(むつ南バイパス)	高規格道路	全線完成(2025)		25,000
4	国道279号(横浜北バイパス)	高規格道路	部分供用(2025) 事業継続	全線完成	19,600
5	国道279号(横浜南バイパス)	高規格道路	全線完成(2025)		17,400
6	国道279号(奥内バイパス)	高規格道路	事業継続	全線完成	24,900
7	国道394号(榎林バイパス)	バイパス	事業継続	全線完成	5,830
8	(一) 後平青森線(後平バイパス)	バイパス	事業継続	全線完成	4,180
9	国道101号(追良瀬Ⅱ期バイパス)	バイパス	部分供用 事業継続	事業継続	5,050
10	(主) 東北横浜線(戸横)	バイパス	部分供用 事業継続	事業継続	2,040
11	(主) 錦ヶ沢壺田線(牛浜バイパスⅠ期)	バイパス	事業継続	事業継続	1,310
12	(一) 再貫木造線(千年～善積)	バイパス	全線完成		4,290
13	国道339号(今泉～太田バイパス)	バイパス	全線完成		2,210
14	(主) 青森五所川原線(飯詰)	バイパス	事業継続	全線完成	1,280
15	(主) 弘前柏線(中崎)	バイパス	事業継続	全線完成	1,580
16	(一) 常盤新山線(前田屋敷～畑中)	バイパス	事業継続	全線完成	1,470
17	(一) 稲盛千代町山田線(下相野)	バイパス	事業継続	全線完成	1,100
18	国道279号(木野部)	バイパス	事業継続	事業継続	10,600
19	(主) 五所川原黒石線(梅田バイパスⅠ期)	バイパス	部分供用 事業継続	事業継続	3,950
20	(一) 後平青森線(下志多)	現道拡幅	全線完成		660
21	(主) 八戸環状線(天久岱)	バイパス	全線完成		11,650
22	国道454号(豊崎町)	バイパス	全線完成		3,300
23	(主) 三沢七戸線(春日台～犬落瀬)	バイパス	事業継続	全線完成	1,450
24	(主) 八戸環状線(市川Ⅱ期)	バイパス	事業継続	全線完成	4,900
25	国道101号(岩崎)	バイパス	事業継続	事業継続	7,680
26	(一) 泊陸奥横浜停車場線(泊～太郎須田)	バイパス	事業継続	事業継続	14,200
27	(都) 白根市川環状線(尻内)	バイパス	事業継続	全線完成	13,500



自然環境と共生するあおもりの道づくり

No	路線名	事業概要	前期5年 (2023年度～2027年度)	後期5年 (2028年度～2032年度)	総事業費 (百万円)
国事業					
1	国道103号(奥入瀬(青嶺山)バイパス)	バイパス	事業継続	事業継続	23,000
県事業					
2	国道280号(蓬田～壺田バイパス)	バイパス	全線完成		9,000
3	(一) 常海橋線(福館～女鹿沢)	バイパス	事業継続	全線完成	5,090
4	(主) 五所川原岩木線(高増)	バイパス	全線完成		1,500
5	国道338号(大津Ⅱ期バイパス)	バイパス	全線完成		4,200
6	国道338号(白糠バイパス)	バイパス	事業継続	全線完成	10,900
7	(一) 後平馬屋尻線(滝沢)	現道拡幅	全線完成		780



※No. 8、No. 18、No. 29、No. 58
 については管内路線全域のため
 位置図はありません。

安心して快適な地域社会を形成するあおもりの道づくり

No	路線名	事業概要	前期5年 (2023年度～2027年度)	後期5年 (2028年度～2032年度)	総事業費 (百万円)
国事業					
1	国道7号(鶴ヶ坂防災)	現道拡幅	事業継続	事業継続	19,000
2	国道4号(目時)	登坂車線整備	全線完成		
3	国道4号(剣吉)	視距改良	全線完成		
4	国道7号(矢立)	登坂車線整備	全線完成		
5	国道7号(綱)	交差点改良	全線完成		
6	国道104号(高橋)	線形改良	全線完成		
7	国道4号(狩場沢)	交差点改良	事業継続	全線完成	
8	国道45号ほか橋梁耐震補強	橋梁耐震補強	事業継続	事業継続	
9	国道7号(浜田)	交差点改良	全線完成		
10	国道7号(津賀野)	交差点改良	全線完成		
11	国道7号(戸山)	交差点改良	全線完成		
12	国道7号(駒込)	交差点改良	全線完成		
13	国道104号(田面木)	交差点改良	全線完成		
14	国道4号(二十平)	交差点改良	全線完成		
15	国道45号(城下)	交差点改良	全線完成		
16	国道45号(四本松)	交差点改良	全線完成		
17	国道4号(岡造)	交差点改良	全線完成		
18	上北自動車道ほか構造物補修	構造物補修	事業継続	事業継続	
19	国道104号 青森104号電線共同溝	電線地中化	事業継続	事業継続	
20	国道7号 青森7号電線共同溝	電線地中化	事業継続	事業継続	
21	国道45号(苗根各地)	交差点改良	事業継続	全線完成	
県事業					
22	(主)むつ尻屋崎線(赤坂橋)	橋梁架替	全線完成		1,400
23	(一)米山菫蒲川線(保安橋)	橋梁架替	全線完成(2023)		3,916
24	(一)馬門野辺地線(野辺地橋)	橋梁架替	全線完成		1,570
25	(一)前坂藤崎線(藤崎橋)	橋梁架替	全線完成		1,730
26	(主)三沢十和田線(古間木橋)	橋梁架替	全線完成(2024)		5,140
27	国道103号(通天橋)	橋梁架替	全線完成		600
28	国道339号(新長富橋)	橋梁架替	全線完成		1,160
29	国道394号ほか橋梁耐震補強	橋梁耐震補強	事業継続	事業継続	
30	(一)三戸南部線(古牧橋)	橋梁架替	全線完成		1,240
31	(一)中ノ渡十和田線(大正橋)	橋梁架替	全線完成		1,000
32	(主)十和田三戸線(稻生橋)	橋梁架替	全線完成		520
33	(主)橋向五戸線(轟木橋)	橋梁架替	事業継続	全線完成	560
34	国道454号(金ヶ沢)	歩道整備	全線完成(2024)		857
35	(主)三沢十和田線(一本木沢)	自転車歩行者道整備	全線完成(2024)		574
36	(一)上野十和田線(上野)	歩道整備	全線完成		1,200
37	(一)津軽新城停車場油川線(新城)	歩道整備	全線完成		1,225
38	(一)吹上金屋黒石線(町居)	歩道整備	全線完成		888
39	(一)吹上金屋黒石線(長崎)	歩道整備	全線完成(2023)		521
40	国道102号(板留～葛川)	災害防除	全線完成		1,420
41	国道454号(宇樽部1)	災害防除	全線完成		583
42	国道279号(易国間3)	災害防除	全線完成		855
43	国道338号(牛滝)	災害防除	事業継続	事業継続	747
44	(一)松代町陸奥赤石停車場線(深谷町1)	現道拡幅	事業継続	全線完成	2,000
45	(一)増田浅虫線(増田～浅虫)	現道拡幅	全線完成		1,500
46	(主)岩木山環状線(芦荻町)	災害防除	全線完成		512
47	(一)苔米地瓦内線(苔米地(1))	歩道整備	全線完成(2024)		500
48	国道338号(三川目)	歩道整備	事業継続	全線完成	560
49	国道338号(二川目)	現道拡幅	全線完成		1,380
50	(主)五所川原浪岡線(下石川)	歩道整備	事業継続	全線完成	700
51	(一)櫛引上名久井三戸線(姥渡)	現道拡幅	全線完成		910
52	(一)蒔田五所川原線(蒔田橋)	現道拡幅	全線完成(2024)		630
53	国道338号(田野沢)	歩道整備	全線完成		500
54	(主)夏泊公園線(久慈ノ浜)	歩道整備	全線完成		1,542
55	国道103号(奥瀬1)	災害防除	全線完成		1,079
56	国道102号(奥瀬2)	災害防除	全線完成		817
57	国道338号(長後)	災害防除	事業継続	事業継続	1,000
58	国道103号ほか(青森市ほか)	道路照明LED化	全線完成		900
59	国道338号(仏ヶ浦)	災害防除	全線完成		551
60	(都)紺屋町野田線	現道拡幅	全線完成		4,260
61	(都)沼館三日町線	電線地中化	全線完成		4,110
62	(都)西滝新城線(新城1工区)	電線地中化	事業継続	全線完成	2,900
63	(都)西滝新城線(新城2工区)	電線地中化	事業継続	全線完成	2,070
64	(都)堤町通り浜田線	現道拡幅	全線完成		2,683
65	(都)八戸大通り線(根城)	電線地中化	事業継続	全線完成	539

青森のこれまでのみちづくり

普段、私たちが何気なく使っている道路は、古くは街道や隧道などといった時代から、交流、流通などの重要な施設として、その役割を担ってきました。私たちは先人の残したみちづくりの形跡を振り返り、その情熱を受け継ぎ、新たな道づくりに反映したいと考えています。

大正9年	第1次道路改良整備計画策定（8月10日）	平成6年	地域高規格道路候補路線として西津軽能代沿岸道路が、計画路線として下北半島縦貫道路（国道279号）・弘前黒石IC連絡道路（国道102号）が指定	
昭和23年	本格的道路改良工事実施（青森三本木線・蟹田小泊港線）	平成7年	下北半島縦貫道路（有戸北バイパス）、弘前黒石IC連絡道路が調査区間に指定	
昭和26年	蓬萊橋竣工（戦後初の永久橋）	下北半島縦貫道路（野辺地バイパス・有戸バイパス）が整備区間に指定	国道279号（正津川バイパス）完成	
昭和29年	第1次道路整備五カ年計画	国道394号（城ヶ倉バイパス）[城ヶ倉大橋]完成	（主）八戸百石線（開運橋）[4車拡幅]完成	
昭和32年	青森県でガードレールを初めて採用	平成8年	国道101号大和田橋（鱒ヶ沢バイパス）完成	
昭和34年	十三橋開通	（主）八戸三沢線（尻内橋）完成	（一）大泉姥笥線（栄橋）完成	
昭和35年	日本初のスノーシェッド（大釈迦）完成	（一）鶴田五所川原自転車道線完成	弘前黒石IC連絡道路（弘前尾上道路）が整備区間に指定	
昭和43年	十和田湖おいらせライン開通。かもしかライン開通	平成9年	国道102号（奥入瀬バイパス）完成	
昭和44年	日本初の海水利用消雪パイプ設置（青森停車場線）	国道103号（横内バイパス）完成	国道338号栗山大橋（むつバイパス）完成	
昭和44年	八甲田大橋完成	国道339号（鶴田～五所川原バイパス）完成	国道339号（鶴田～五所川原バイパス）完成	
	うみねこライン全線完成	（主）八戸環状線（沢里工区）[沢里橋]完成	（主）鱒ヶ沢蟹田線（やまなみトンネル）完成	
	さるかガーデンライン全線完成	平成10年	新道路整備五箇年計画発足（78.0兆円）	
	津軽よされライン全線舗装完成	弘前黒石IC連絡道路（尾上黒石道路）が整備区間に指定	下北縦貫道路（吹越バイパス）が調査区間に指定	
昭和45年	津軽大橋完成	国道102号（葛川バイパス）完成	（一）弘前平賀線（新大豊橋）完成	
	むつはまなすライン全線舗装完成	～交流ふれあい事業～	平成11年	下北半島縦貫道路（むつ南バイパス）が調査区間に
	西十和田いで湯ライン全線舗装完成	平成9年	国道102号弘南大橋（弘前尾上道路）完成	
昭和46年	青函トンネル起工式	（主）鱒ヶ沢蟹田線（大平～今泉工区）完成	平成12年	八戸・久慈自動車道（八戸市～階上町）が整備計画
昭和47年	十和田ゴールドライン全線舗装完成	平成10年	区間に格上げ	
昭和48年	白萩ライン全線舗装完成	国道102号（弘前尾上道路）完成	国道102号（弘前尾上道路）完成	
昭和49年	国道101号全線舗装完成	（主）鱒ヶ沢蟹田線（大平～今泉工区）完成	国道339号（小泊山Ⅱ・Ⅲ期拡幅）完成	
昭和51年	八戸港線新湊橋完成	主要地方道大鰐浪岡線（大坊～吹上）完成	国道394号（南中野バイパス）完成	
	やまなみライン全線舗装完成	一般県道弘前平賀線（新里～大光寺）完成	国道338号（むつバイパス）完成	
	八戸大橋開通	平成13年	国道280号（内真部～蓬田バイパス）部分供用	
	津軽中山ライン全線舗装完成	本省再編（国土交通省）スタート	国道102号（豊岡バイパス）完成	
	津軽あすなろライン全線舗装完成	県組織改革（県土整備部道路課）スタート	国道280号（野田バイパス）完成	
昭和52年	青森浪岡線全線舗装完成	国道280号（野田バイパス）完成	国道339号（釜泊）	
昭和53年	海峡ライン開通	主要地方道三沢十和田線（七百バイパス）部分供用	一般県道福山五所川原線（石岡バイパス）完成	
昭和54年	東北縦貫自動車道（大鰐・弘前IC～青森IC間）開通	平成2年	国道280号（塩越バイパス）完成	
昭和54年	十三湖大橋架替完成	平成3年	津軽自動車道（浪岡町～五所川原市）、八戸・久慈	
昭和55年	みちのく有料道路開通	自動車道（八戸市根城～妙）整備計画区間に格上げ	津軽自動車道着工（県事業）	
	東北縦貫自動車道弘前線（碓ヶ関IC～大鰐・弘前IC間）開通	八戸・久慈自動車道着工	国道338号（牛滝～野平バイパス）完成	
昭和59年	竜泊ライン全面開通	国道338号（牛滝～野平バイパス）完成	（主）夏泊公園線（浅所工区）[新雷電橋]完成	
昭和60年	青森中央大橋有料道路開通	平成4年	国道103号、394号追加指定	
	青函トンネル本坑貫通	第二みちのく有料道路開通	平成5年	第11次道路整備五箇年計画発足（76.0兆円）
昭和61年	東北縦貫自動車道弘前線全面開通（県内分）	平成元年	津軽自動車道が国直轄事業へ移行	
昭和61年	東北縦貫自動車道八戸線（一戸IC～八戸IC間）開通	国道7号古川跨線橋全面開通（直轄事業）	国道280号内真部バイパス完成	
昭和62年	新青森空港開港	平成2年	国道280号（塩越バイパス）完成	
	青森空港有料道路開通	平成3年	津軽自動車道（浪岡町～五所川原市）、八戸・久慈	
	青函トンネル開通	自動車道（八戸市根城～妙）整備計画区間に格上げ	津軽自動車道着工（県事業）	
	第二みちのく有料道路着工	八戸・久慈自動車道着工	国道338号（牛滝～野平バイパス）完成	
昭和63年	竜泊ライン全面舗装	国道338号（牛滝～野平バイパス）完成	（主）夏泊公園線（浅所工区）[新雷電橋]完成	
平成元年	東北縦貫自動車道八戸線（安代JCT～一戸IC間）開通	平成4年	国道103号、394号追加指定	
平成2年	国道280号（塩越バイパス）完成	第二みちのく有料道路開通	平成5年	第11次道路整備五箇年計画発足（76.0兆円）
平成3年	津軽自動車道（浪岡町～五所川原市）、八戸・久慈	平成元年	津軽自動車道が国直轄事業へ移行	
	自動車道（八戸市根城～妙）整備計画区間に格上げ	国道7号古川跨線橋全面開通（直轄事業）	国道280号内真部バイパス完成	
	津軽自動車道着工（県事業）	平成2年	国道280号（塩越バイパス）完成	
	八戸・久慈自動車道着工	平成3年	津軽自動車道（浪岡町～五所川原市）、八戸・久慈	
	国道338号（牛滝～野平バイパス）完成	自動車道（八戸市根城～妙）整備計画区間に格上げ	津軽自動車道着工（県事業）	
	（主）夏泊公園線（浅所工区）[新雷電橋]完成	八戸・久慈自動車道着工	国道338号（牛滝～野平バイパス）完成	
平成4年	国道103号、394号追加指定	国道338号（牛滝～野平バイパス）完成	（主）夏泊公園線（浅所工区）[新雷電橋]完成	
平成5年	第11次道路整備五箇年計画発足（76.0兆円）	平成4年	国道103号、394号追加指定	
	津軽自動車道が国直轄事業へ移行	第二みちのく有料道路開通	平成5年	第11次道路整備五箇年計画発足（76.0兆円）
	国道7号古川跨線橋全面開通（直轄事業）	平成元年	津軽自動車道が国直轄事業へ移行	
	国道280号内真部バイパス完成	国道7号古川跨線橋全面開通（直轄事業）	国道280号内真部バイパス完成	

平成14年	<p>県組織改革（県土整備事務所スタート） 国道101号（鱒ヶ沢バイパス）完成 国道280号 一般国道338号（尾駁バイパス）完成 主要地方道岩崎西目屋弘前線（東目屋バイパス） 部分供用 主要地方道五所川原浪岡線（花岡大橋）完成 主要地方道五所川原岩木線（高杉バイパス）完成 一般県道関ヶ平五代線（岩木茜橋）完成 津軽自動車道（浪岡IC～五所川原東IC）完成</p>	平成21年	<p>主要地方道岩崎西目屋弘前線（村元工区）完成 一般県道桑野木田南広森線（柴田工区）完成 主要地方道川内佐井線（佐井工区）完成 国道340号（泥障作Ⅱ期バイパス）完成 都市計画道路犬落瀬金矢線完成</p>
平成15年	<p>県組織改革（庁内グループ制スタート） 東北縦貫自動車道八戸線（岩渡～諏訪沢）完成 下北半島縦貫道路（むつ南バイパス）が整備区間に 指定 主要地方道十和田三沢線（滝沢～戸来工区）完成 一般県道小友板柳停車場線（津軽りんご大橋）完成 都市計画道路白銀市川環状線及び主要地方道 八戸三沢線（碓田～上白川工区）完成</p>	平成22年	<p>国道101号（北金ヶ沢バイパス）完成 主要地方道大鱈浪岡線（乳井工区）完成 国道338号（長後バイパス）完成 主要地方道青森環状野内線（細越バイパス）完成 一般県道南部田子線（道ノ上工区）完成 国道280号（蓬田～蟹田バイパス）Ⅰ期工区完成 一般県道松野木姥苅線（福岡工区）完成 主要地方道大鱈浪岡線（アップル大橋）完成 都市計画道路弘前宮地線完成</p>
平成16年	<p>八戸・久慈自動車道（八戸是川IC～八戸南IC）完成 弘前黒石IC連絡道路（尾上黒石道路）完成 下北半島縦貫道路（有戸バイパス）完成 下北半島縦貫道路（野辺地バイパス）部分供用 鱒ヶ沢蟹田線（菰槌工区）完成 五戸下田停車場線（三本木工区）完成 東北縦貫自動車道八戸線（青森自動車道 救急車退出路） 供用</p>	平成23年	<p>主要地方道岩崎西目屋弘前線（村市バイパス）完成 都市計画道路内環状線（石江工区）完成</p>
平成17年	<p>下北半島縦貫道路（野辺地バイパス）完成 主要地方道青森浪岡線（高田バイパス）完成 弘前環状線（清瀬橋）完成 八戸環状線（市川町工区）完成 都市計画道路下白銀町福村線 暫定2車線供用</p>	平成24年	<p>下北半島縦貫道路（有戸北バイパス）完成 主要地方道夏泊公園線（浦田～茂浦工区）完成 国道338号（白糠バイパスⅠ期工区）完成</p>
平成18年	<p>一般国道103号（宇樽部バイパス）完成 一般国道454号（正法寺バイパス）完成 一般国道454号（扇田バイパス）完成 主要地方道八戸野辺地線（市川Ⅱ工区）完成 都市計画道路下白銀町福村線（完成） 主要地方道青森浪岡線（青森空港立体駐車場） 全面供用</p>	平成25年	<p>国道45号（八戸南道路）完成 国道45号（上北道路）完成 下北半島縦貫道路（横浜南バイパス）が整備区間に指定</p>
平成19年	<p>県組織改革（全域で地域県民局スタート） 八戸・久慈自動車道（八戸南IC～種差海岸階上岳IC） 完成 国道101号（追良瀬バイパス）完成 国道101号（田野沢バイパス）完成 国道338号（大間バイパス）完成 国道339号（栴檀バイパス）完成 主要地方道岩崎西目屋弘前線（ダムサイト迂回路） 完成 下北半島縦貫道路（野辺地バイパス救急車退出路）供用 津軽自動車道（五所川原東IC～五所川原北IC）完成 主要地方道青森田代十和田線（法量工区）完成</p>	平成26年	<p>主要地方道八戸環状線（糠塚工区）完成 国道45号（八戸南環状道路）完成 主要地方道岩崎西目屋弘前線（津軽ダム付替） 全線完成 国道339号（五所川原北バイパス）部分供用 主要地方道青森浪岡線（ハツ役工区）完成 津軽自動車道（五所川原西バイパス）完成</p>
平成20年	<p>下北半島縦貫道路（吹越バイパス）が整備区間に指定 主要地方道弘前柏線（桑野木田工区）完成 国道339号（五所川原北バイパス）完成 主要地方道八戸三沢線（張田Ⅱ期バイパス）完成 国道338号（宇曾利バイパス）完成 都市計画道路弘前黒石線完成 主要地方道弘前岳鱒ヶ沢線（宮地工区）完成</p>	平成27年	<p>都市計画道路白銀市川環状線（中居林工区）完成 国道454号（豊間内工区）完成 主要地方道五所川原岩木線（掛落林工区）完成 一般県道常海橋銀線（上常海橋～福館工区）完成</p>
		平成28年	<p>下北半島縦貫道路（横浜北バイパス）が整備区間に指定 国道101号（鱒ヶ沢道路）部分供用 都市計画道路中央町金矢線 完成 主要地方道東北横浜線（室ノ久保工区）完成</p>
		平成29年	<p>国道280号（蓬田～蟹田バイパス）部分供用 下北半島縦貫道路（吹越バイパス）完成</p>
		平成30年	<p>国道394号（榎林バイパス）部分供用 国道45号（上北天間林道路）完成 津軽自動車道（鱒ヶ沢道路）完成</p>
		平成31(令和元年)	<p>下北半島縦貫道路（むつ南バイパス）部分供用</p>
		令和2年	<p>国道45号（洋野階上道路）完成 主要地方道五所川原車力線（福浦～車力工区）完成 一般県道相馬常磐野線（大秋工区）完成 国道338号（砂子又工区）完成 国道279号（二枚橋工区）完成</p>
		令和3年	<p>国道338号（高瀬川第二橋）完成</p>
		令和4年	<p>上北自動車道（天間林道路）完成 下北半島縦貫道路（むつ南バイパス）部分供用 八戸都市計画道路3・5・1沼館三日町線 部分供用</p>
		令和5年	<p>みちのく有料道路料金所 ETC供用（12月19日）</p>
		令和6年	<p>主要地方道五所川原黒石線（梅田工区）部分供用</p>

■ ホームページ・SNSでの情報提供

○ 青森みち情報 ○

青森の道路情報満載サイトでござる!

青森県幹線道路協議会とNPO法人青森ITSクラブが連携し、青森県内の道路に関する各種情報を『青森みち情報』という名前で情報提供しています。安全に道路を利用して頂くための参考情報としてパソコン・携帯でご活用下さい。

緊急規制情報 (通行止め)

※災害や雪による緊急の通行止めが発生した場合に信号が点滅します。予め予定されている工事規制や冬期間額は反映されません。※通行止めが1週間程度以上継続した場合、信号の点滅は解消されません。

■この情報について 06月11日11時31分 現在 更新

国道 (国管理) 通行止なし
国道・県道 (県管理) 通行止なし
みちのく 有料道路 通行止なし

■青森県道路情報メール配信サービス
青森県管理道路の災害や異常気象による通行止め情報をメールでお知らせします。

現在の警報・注意報

平成30年6月10日10時23分 現在

	警報			注意報		
	大雨	洪水	暴風	大雨	洪水	強風
東青津軽						
北五津軽						
西津軽						
中南津軽						
下北						
三八						
上北						

※全ての警報・注意報をご覧になりたい時は [こちら](#)

■ 県内の気象情報



▲専用サイトはこちら!

主な提供情報

- 青森県内の国道・県道における雪や災害による緊急規制 (通行止め) 情報
- ライブカメラ情報
- 渋滞情報 (青森市、弘前市、八戸市)
※(公財)日本道路交通情報センター
- 公共交通情報 (バス、鉄道、航空、フェリーなど)
- 気象情報 (青森県内の警報・注意報)
- 冬期閉鎖路線情報 (冬期間のみ提供しております。)

○ X (旧ツイッター) で道路情報を発信しています ○

最新の道路情報をゲット!



https://twitter.com/kendo_douro



道路課の
取り組みを紹介中
ぜひ、フォローを!!

青森県道路課
116件のポスト

青森県道路課
@kendo_douro

青森県道路課の公式アカウントです。開通情報やイベントなど、当課の取り組みについてお知らせします。なお、本アカウントでは情報発信のみを行うこととしており、本アカウントにお寄せいただいたご意見・ご要望には対応いたしかねます。県で管理する道路の通行規制情報等については、@aomoriken_douroをご覧ください。



https://twitter.com/aomoriken_douro



通行規制情報を
リアルタイムで
お届けします。

青森県道路課 (通行規制情報)
523件のポスト

青森県道路課 (通行規制情報)
@aomoriken_douro

青森県道路課の公式アカウントです。県で管理する道路の通行規制情報等をお知らせします。なお、本アカウントでは情報発信のみを行うこととしており、本アカウントにお寄せいただいたご意見・ご要望には対応いたしかねます。道路の開通情報やイベントなど、道路課の取り組みについては@kendo_douroをご覧ください。